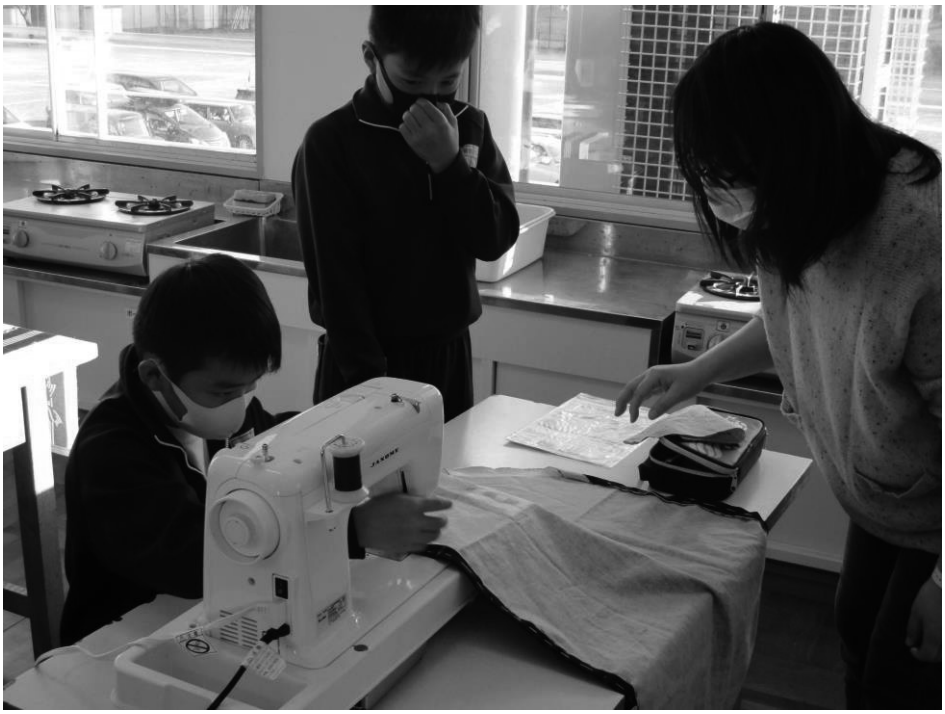
第２　「学校応援団」とは



ミシン補助
小鹿野町立小鹿野小学校

「学校応援団」の概要について

1　趣旨

家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子供と向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び家庭・地域の教育力の向上を図る。

2　内容

（1）「学校応援団」とは

○学校における学習活動、安全確保、環境整備などについて、ボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織

（2）「学校応援コーディネーター」とは

○各学校において教職員以外の者で、学校と家庭、地域が連携した様々な活動（「学校応援団」の活動）の連絡・調整をする者

○県では、「学校応援団」の組織的・継続的な活動を目指すため、「学校応援コーディネーター」の複数配置を推奨している。

○「埼玉県５か年計画」においては、「公立小・中学校と『学校応援団』の調整（コーディネート）を行う人」と示され、令和３年度末までに３，１００人の配置が施策指標となっている。

○「学校応援コーディネーター」の担い手

（例）ＰＴＡ関係者・学校評議員・学校運営協議会等関係者・「おやじの会」関係者
町内会長・区長・自治会長・民生委員・児童委員

○「学校応援コーディネーター」の役割

（例）・「学校応援団」の活動に参画する地域の様々な団体・組織等との連絡・調整
・地域や学校の実情に応じた「学校応援団」の活動の企画・立案

※県が例年実施している「『学校応援団』の推進に係る調査」においては、「『学校応援団』が組織されており、学校と『学校応援団』との調整役（教職員以外）がいる」学校を「『学校応援団』が組織された学校」と定義している。

（3）「学校応援団」の主な活動内容

○学習活動への支援・・・「学習支援ボランティア」として、児童生徒の学習活動を支援

○安心・安全確保への支援・・・児童生徒の登下校時などの安全確保を支援

○学校環境整備への支援・・・花壇の整備を行うなど、教育活動の環境整備を支援

○部活動・クラブ活動への支援・・・経験を活かした部活動指導や大会への引率支援

（4）新型コロナウイルス感染症の影響

○検温、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保など、感染症対策を講じながら活動を行っている。

○学校とコーディネーター等で活動の見直しを行い、活動の中止や制限を設けた。

○学校運営協議会等で地域の方から応援団の活動の提案を受け、消毒作業など新しい活動につながった。

（５）成果と課題

【成果】

○「地域人材」を活用した支援活動の結果という視点から

・子供の多様な体験や経験が増加し、子供の学習意欲が向上した。

・子供の地域への理解・関心が深まった。

○学校と家庭・地域との連携という視点から

・学校応援団の活動を通じ、教職員の負担軽減が図られた。

・保護者や地域の方が来校することにより、学校と家庭・地域との連帯感が強まった。

・保護者や地域の方の「生きがい」や「やりがい」などにつながった。

【課題】

・学校応援コーディネーターやボランティアの人材確保

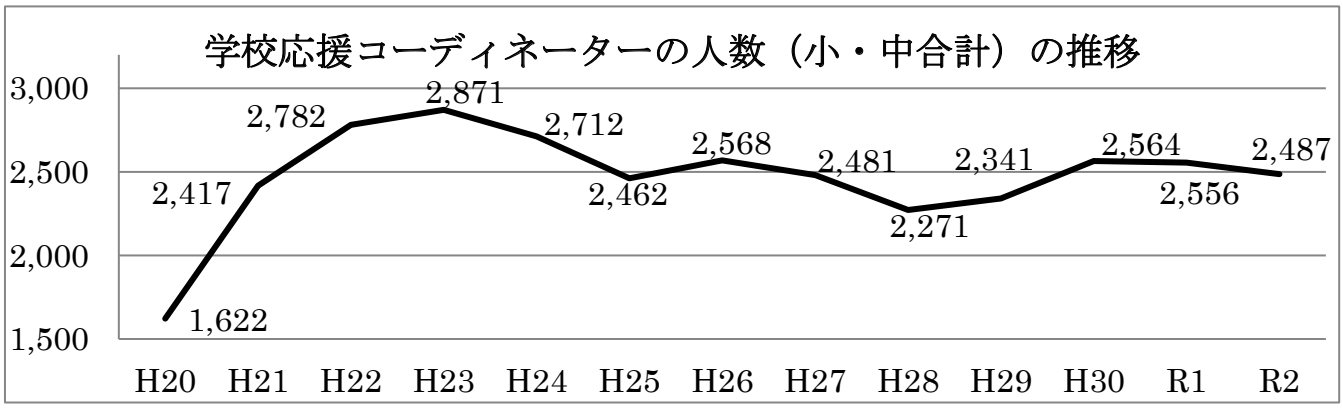
・新型コロナウィルス感染症対策を講じた活動の充実

３　「学校応援団」の組織率の推移

	小学校			中学校		
	応援団が組織されている学校数（校）	組織率（%）【※】	学校応援コーディネーター人数（人）	応援団が組織されている学校数（校）	組織率（%）【※】	学校応援コーディネーター人数（人）
平成１７年度	７	１				
平成１８年度	２０８	２９				
平成１９年度	２７０	３８				
平成２０年度	４５６	６４	１，２７４	１２２	３３	３４８
平成２１年度	６３７	８９	１，８７５	１９２	５２	５４２
平成２２年度	７１３	９９	１，９３１	２７６	７５	８５１
平成２３年度	７１３	１００	１，９９５	３５１	９７	８７６
平成２４年度	７１０	１００	１，９４８	３６３	１００	７６４
平成２５年度	７０９	１００	１，７１２	３６２	１００	７５０
平成２６年度	７０８	１００	１，７５４	３６１	１００	８１４
平成２７年度	７０８	１００	１，７６１	３５９	１００	７２０
平成２８年度	７０８	１００	１，６０１	３５５	１００	６７０
平成２９年度	７０８	１００	１，６９９	３５５	１００	６４２
平成３０年度	７０６	１００	１，８７４	３５５	１００	６９０
令和元年度	７０２	１００	１，８６５	３５４	１００	６９１
令和２年度	**６９８**	**９９．４**	**１，８１９**	**３５０**	**９８．６**	**６６８**

※１　中学校には、義務教育学校を含む

※２　「組織率」＝「応援団が組織されている学校数」／「全学校数」



令和2年度「学校応援団」の推進に係る調査結果概要

※中学校には、義務教育学校を含みます。

1 「学校応援団」の組織状況

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
「学校応援団」（学校を支援する組織）が組織されており、学校と「学校応援団」との調整役（教職員以外）がいる。	698	99.4%	350	98.6%
学校を支援する組織はあるが、学校と組織との調整役がいない。	4	0.6%	4	1.1%
学校の教育活動の支援を行う組織がなく、調整役もいない。	0	0.0%	1	0.3%

〇新型コロナウィルス感染症を懸念して勇退したコーディネーターの後任を見つけられなかった学校があった。
〇新型コロナウィルス感染症を懸念して学校応援団の組織を編成しなかった学校があった。

2 「学校応援コーディネーター」の人数

選択肢	小回答	小平均	中回答	中平均
合計・１校あたりの平均配置人数	1819	2.6	668	1.9

小・中学校合計・平均	2487	2.4

3 「学校応援コーディネーター」の担い手

選択肢	小回答(1819)	中回答(668)
現ＰＴＡ関係者	426	265
元ＰＴＡ関係者（ＰＴＡのＯＢなど）	324	156
学校評議員・学校運営協議会等関係者	322	124
学校支援グループの関係者（「おやじの会」等の保護者による会やＮＰＯ団体等）	133	36
町内会長・区長・自治会長など	186	20
民生委員・児童委員	53	14
学校教育に理解のある地域住民	271	34
退職教職員	36	3
公民館等社会教育施設職員	19	4
商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者	7	1
企業関係者	2	1
行政関係者	8	4
その他	32	6

4 「学校応援コーディネーター」が行う業務

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
「学校応援団」の活動に参画する地域の様々な団体・組織等との連絡・調整	479	68.6%	241	68.9%
地域や学校の実情に応じた「学校応援団」の活動の企画・立案	372	53.3%	201	57.4%
新たなボランティアの募集活動	335	48.0%	136	38.9%
家庭・地域に向けた「学校応援団」の活動の周知活動（広報紙の発行等）	185	26.5%	110	31.4%
ボランティア名簿の作成・管理	180	25.8%	66	18.9%
「学校応援団」の活動の記録簿等の作成・管理	132	18.9%	57	16.3%
コーディネーターの複数配置校における、コーディネーター同士の連携	92	13.2%	34	9.7%
コーディネーターの交代、複数配置等に向けた新たなコーディネーターの育成活動、引き継ぎ等	128	18.3%	44	12.6%
ボランティア対象の研修会や交流会の企画・運営	75	10.7%	33	9.4%
学校と「学校応援団」との調整役以外の業務は行っていない。	90	12.9%	46	13.1%
その他	5	0.7%	1	0.3%

5 「学校応援団」の活動に参加する方々が打合せや準備作業などに使用する場所

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
余裕教室を転用した専用の部屋を確保している。	102	14.5%	42	11.8%
ＰＴＡ等との共用の部屋を確保している。	173	24.6%	135	38.0%
会議室や図書室、家庭科室等の教員・児童も使用する部屋を日常的に使用できるようにしている。	259	36.9%	82	23.1%
校舎に、「コミュニティールーム」のような専用のスペースが元々設定されている。	30	4.3%	7	2.0%
校地内の校舎とは別の建物（体育館・プレハブの建物等）にスペースを確保している。	16	2.3%	3	0.8%
学校外の施設（公民館・市民センター等）が使用されている。	27	3.8%	10	2.8%
場所は設定していない。	224	31.9%	123	34.6%
その他	11	1.6%	5	1.4%

6 今年度の「学校応援団」の活動

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
学習活動への支援	508	72.4%	91	25.6%
安心・安全確保への支援	663	94.4%	215	60.6%
学校の環境整備への支援	523	74.5%	244	68.7%
体験活動への支援	275	39.2%	41	11.5%
部活動・クラブ活動への支援	63	9.0%	122	34.4%
生徒指導への支援	68	9.7%	47	13.2%
環境教育への支援	136	19.4%	60	16.9%
学校ファームへの支援	281	40.0%	75	21.1%
その他	35	5.0%	17	4.8%

7 「学習活動への支援」の内容

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
子供への本の読み聞かせ	357	50.9%	29	8.2%
授業などにおける、学習活動の支援	310	44.2%	29	8.2%
授業などにおける、学習内容に関する専門的な知識の話や技術・技能の教示	233	33.2%	30	8.5%
校外で学習する際の子供の付き添い、安全の確保	209	29.8%	8	2.3%
放課後や週末、長期休業中における、宿題や補習などの支援	38	5.4%	18	5.1%
その他	15	2.1%	8	2.3%

8 「安心・安全確保への支援」の内容

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
登下校時、児童生徒の付き添い	394	56.1%	3	0.8%
登下校時、通学路での安全確保	636	90.6%	144	40.6%
防犯パトロールを実施	402	57.3%	105	29.6%
その他	19	2.7%	22	6.2%

9 「学校の環境整備への支援」の内容

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
樹木や生垣の手入れや剪定	275	39.2%	128	36.1%
除草作業や花壇などの整備	459	65.4%	217	61.1%
教室や校舎の修繕	78	11.1%	36	10.1%
学校図書館の整備や図書の整理	213	30.3%	31	8.7%
校庭の遊具の整備や管理の補助	57	8.1%	11	3.1%
その他	55	7.8%	16	4.5%

10 「部活動・クラブ活動への支援」の内容

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
部活動やクラブ活動における、指導・助言や技術・技能の教示	65	9.3%	111	31.3%
部活動の大会などにおける、引率の補助	0	0.0%	32	9.0%
その他	3	0.4%	7	2.0%

11 「学校応援団」に対するお礼の活動等について

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
「感謝の会」を開くなど、感謝の気持ちを伝える場を設定	340	48.4%	43	12.1%
感謝の気持ちを表した手紙等の作成・贈呈	534	76.1%	57	16.1%
感謝の気持ちを伝えるため、支援していただいている方の自宅や施設等を訪問	30	4.3%	7	2.0%
給食を準備し、児童生徒と一緒に食べる場を設定	68	9.7%	9	2.5%
特にそのような機会は設けていない。	72	10.3%	235	66.2%
その他	36	5.1%	16	4.5%

12 「学校応援団」の活動に係る話し合いを行う場（「会議」）への対応

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
「学校応援団会議」や「学校応援団連絡協議会」等の場を設けている。	377	53.7%	181	51.0%
「会議」は行っていない。	325	46.3%	174	49.0%

13 今年度の「会議」の開催回数・平均

選択肢	小回答	小平均	中回答	中平均
今年度の「会議」の開催回数・平均	701	1.9	473	2.6

14 いじめの未然防止のための取組について

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
学校応援団に係る会議等で、情報提供の協力を依頼	316	45.0%	152	42.8%
「いじめ防止対策推進法」に基づいて作成した「いじめ防止基本方針」の中に、学校応援団による協力などについて記載	246	35.0%	103	29.0%
特に実施していない。	201	28.6%	124	34.9%
その他	20	2.8%	12	3.4%

15 「地域人材」を活用した支援活動の結果という視点から「成果」として考えられること

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
学習活動の支援により、子供の学習意欲が向上した。	488	69.5%	70	19.7%
子供の学力や体力が向上した。	128	18.2%	34	9.6%
子供のコミュニケーション能力が向上した。	247	35.2%	84	23.7%
子供の多様な体験や経験が増加した。	538	76.6%	193	54.4%
子供の地域への理解・関心が深まった。	425	60.5%	176	49.6%
不登校やいじめなど生徒指導上の課題が減少した。	50	7.1%	13	3.7%
学校や教員の負担が軽減された。	399	56.8%	170	47.9%
教員が授業や生徒指導などにより力を注ぐことができた。	114	16.2%	40	11.3%
「地域人材」を授業等で活用する「よさ」について、教員の理解が深まった。	313	44.6%	72	20.3%
専門的な知識や技能が授業に活用されることにより、授業の質が向上した。	272	38.7%	36	10.1%
サ　その他	21	3.0%	13	3.7%

16 学校と家庭・地域との連携という視点から「成果」として考えられること

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
保護者や地域の方が来校することにより、学校と家庭・地域との連帯感が強まった。	584	83.2%	283	79.7%
学校の教育活動への支援を通じ、保護者や地域の方の学校に対する理解や信頼が深まった。	619	88.2%	293	82.5%
子供を地域ぐるみで育てるという教職員の意識が高まった。	366	52.1%	148	41.7%
保護者や地域の方の「生きがい」や「やりがい」などにつながった。	428	61.0%	105	29.6%
子供が地域の行事に積極的に参加するようになった。	121	17.2%	76	21.4%
地域で子供を育てる意識が向上した。	324	46.2%	122	34.4%
地域コミュニティが活性化した。	120	17.1%	37	10.4%
その他	11	1.6%	6	1.7%

17 「学校応援団」の活動の充実にあたって「課題」として考えられること

（複数回答あり）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
「学校応援団」運営のための予算確保	210	29.9%	118	33.2%
「学校応援団」が使用する専用の場所の確保	206	29.3%	54	15.2%
学校応援コーディネーターとして依頼できる人材確保	417	59.4%	176	49.6%
学校応援コーディネーターの力量や意欲を高めること	99	14.1%	43	12.1%
ボランティアを集めること	478	68.1%	168	47.3%
学校応援コーディネーターやボランティアとの打ち合わせや調整時間の確保	423	60.3%	158	44.5%
学校経営方針への位置づけ	33	4.7%	18	5.1%
企画・運営委員会や職員会議等での検討	79	11.3%	42	11.8%
「学校応援団」に支援していただく内容を明確にすること	188	26.8%	75	21.1%
「学校応援団」の活動内容を充実させること	269	38.3%	130	36.6%
参考事例となる情報やノウハウ・ツールの不足	47	6.7%	18	5.1%
教職員の理解や協力を得ること	93	13.2%	71	20.0%
ＰＴＡや保護者の理解や協力を得ること	137	19.5%	89	25.1%
地域の方の理解や協力を得ること	163	23.2%	72	20.3%
課題として考えられることはない	5	0.7%	12	3.4%
その他	29	4.1%	11	3.1%

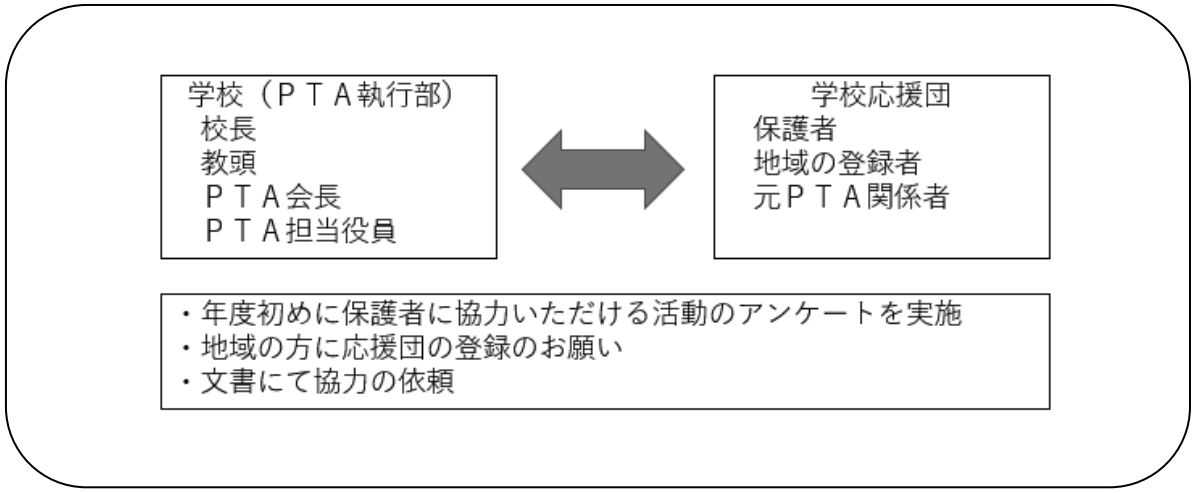
第３　「学校応援団」の実践事例

放課後消毒ボランティア
行田市立行田中学校

鴻巣市立鴻巣中学校の実践

1　生徒数・学級数　　５５６名・１８学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	２名
担い手	ＰＴＡ会長　ＰＴＡ担当役員
行っている業務	○学校（担当者）やボランティアとの連絡・調整 ○ボランティア当日の受付・説明 ○新たなボランティアの募集

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・危険箇所安全パトロール（６月、７月）　　・校内除草作業（９月）

・体育祭、合唱コンクール活動協力（９月、１０月）　・登校指導（９月～）

・アルミ缶回収（１月～）・特別支援学級読み聞かせ（１１月～）　・図書室ボランティア

（２）実施を見送った活動

・資源回収　　・講演会

5　活動内容

学校の臨時休業で学校と担当で５月末に打合せを行い６月に担当から応援団の活動案内を行った。

しかし、新型コロナの影響で多数参加の活動は中止となった。２学期から人数の制限や距離をとる対策の下、徐々に活動を開始した。参加の際は参加票を作成し、検温や体調の報告、マスクの着用、手指消毒の徹底をして実施した。

【合唱コンクール受付】

6　成果と地域の方の声

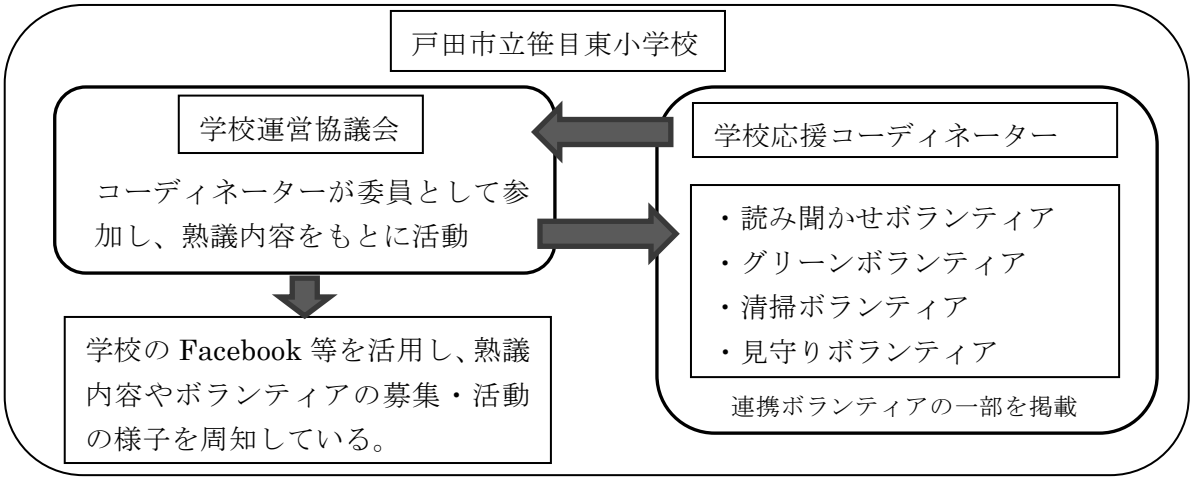
応援団の活動が中止になったことで、他の活動に協力をしたいという申し出が多く改めて学校が保護者や地域に支えられていることを実感した。

地域の方からは「しばらくの間、学校での子どもの活動が見られなかったが、これまでと活動の様式は変わっているが学校の様子や子どもたちの成長が見られてうれしい」という意見を多数いただいた。

戸田市立笹目東小学校の実践

1　児童数・学級数　　７１０名・２４学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	元 PTA 役員
行っている業務	○学校（担当者）やボランティアとの連絡・調整 ○学校運営協議会と地域をつなげる ○新たなボランティアの募集

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・グリーンボランティア（校庭の草むしり・花壇への花植え等環境整備）　９月、１２月
・トイレ清掃ボランティア　９月～
・読み聞かせボランティア１０月～

（２）実施を見送った活動

・家庭科の調理実習への手伝い
・生活科の地域探検への手伝い

【トイレ清掃ボランティア、グリーンボランティア、読み聞かせボランティア】

5　活動内容

学校が再開され、職員や児童が新しい生活様式に慣れ、落ち着いて学校生活が送れるようになった９月以降にトイレ清掃や草むしりなどの児童との接触がない活動から再開した。読み聞かせもできる限り児童とボランティアの接触機会を増やさぬよう、ボランティアの人数を３～４名とし、かつ、１・２年と特別支援学級に限定して行った。また、フェイスシールドを着用し、児童は自席で読み聞かせを聞くようソーシャルディスタンスの確保をした。

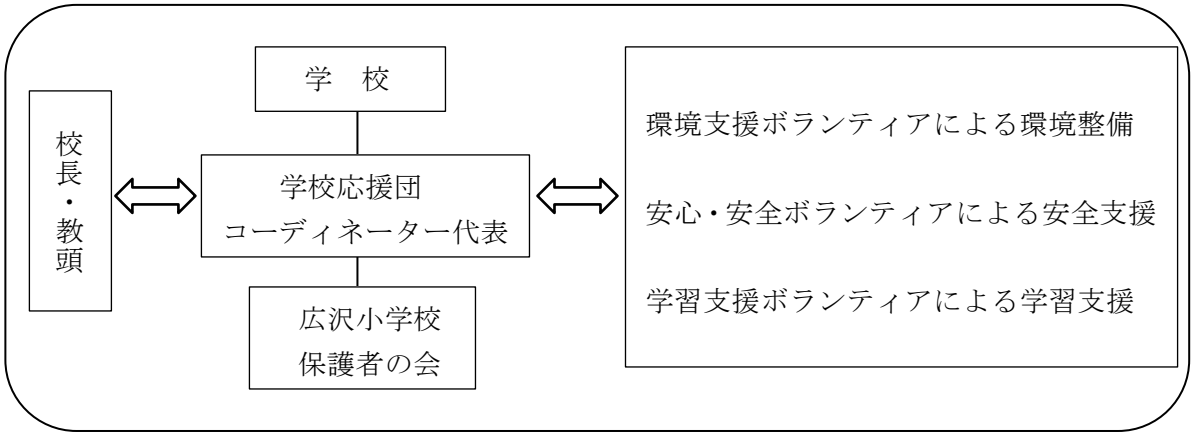
6　成果と地域の方の声

トイレ清掃については、ボランティアを募集するまでは職員が分担して業務に当たっていたため、負担軽減につながった。ボランティアに対しても清掃後に短い時間ではあるが、児童の学習の様子を廊下から見てもらえるようにすることで、「今年はほとんど学校での様子が見られなかったのでよかった」という意見が多くいただけた。

和光市立広沢小学校の実践

1　児童数・学級数　　４５７名・１８学級（内特支３）

2　体制図



3　学校応援団コーディネーターについて

コーディネーター数	３名
担い手	保護者の会役員（１）地域支援者（１）、スクールガードリーダー（１）
行っている業務	・年間活動計画の作成 ・学校担当者との連絡調整 ・活動時のグループ団員との連絡調整　等

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・校庭整地（５月）・校門等のペンキ塗り（６月）・除草、剪定、落ち葉回収（通年）

・漢字検定補助（１月）・虫よけ網戸の設置（３月）

（２）実施を見送った活動

・今年度は新型コロナウィルス感染防止の観点から、例年実施している書き初めや読み聞かせ、ミシン補助、調理実習補助等、学習支援者として児童へ直接関わる活動の多くは見送った。

5　活動内容

本校は校舎内共に緑豊かな環境に恵まれているが、一方で整備が不十分であると、有毒性の虫が大量発生し、子供たちの観察や体験等の貴重な学びを妨げる要因ともなり得る。今年度は教職員と児童による活動の多くが制限されていたため、校庭整地や除草、剪定等の環境支援に関しては、地域のスポーツ少年団組織とも連携を図りながら、計画的に活動を進めてきた。

【除草、剪定、落ち葉回収】

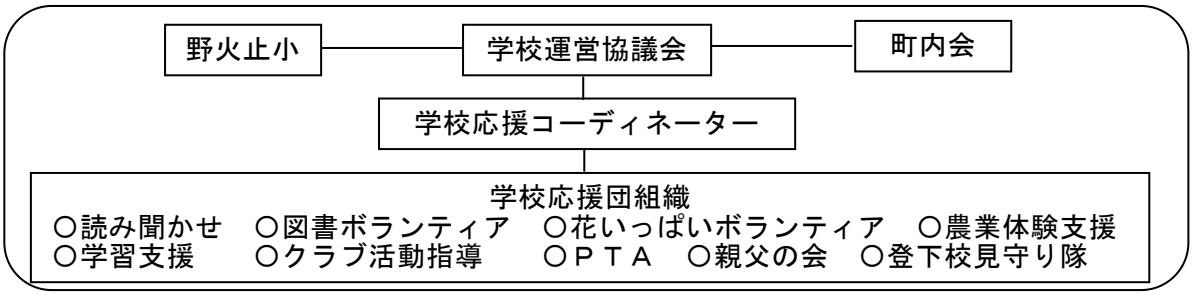
6　成果と地域の方の声

これまでの取組の中でも特に学習支援ボランティアによる活動は、個々の得意分野が生かされて、子供の学習効率を高めると共に知識や技能の確実な定着に貢献していただいた。また、応援団の活動により、地域の学校に対する理解も深まり、地域住民の様々な意見や応援を得ることができた。これらは今後、更に活動の連携を図り、相互理解を確かなものにしていく上で大変貴重であり、大きな成果の一つであるといえる。

新座市立野火止小学校の実践

１　児童数・学級数　　６２４名・２２学級

２　体制図



３　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	学校運営協議会委員（元ＰＴＡ会長）
行っている業務	○学校（担当者）やボランティアとの連絡・調整 ○学習支援ボランティアの実施、クラブ活動の支援 ○学校運営協議会との連携、報告

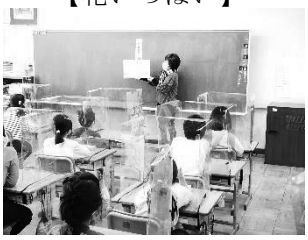
４　活動状況

（１）実施した活動、時期
- 花いっぱいボランティア（４月～毎週）
- 登下校見守り隊（６月～毎日）
- 学習支援ボランティア（６月～７月）
- クラブ活動指導員（６月～）
- 読み聞かせボランティア（９月～毎月）
- 図書館整備、掲示物（９月～毎月）

（２）実施を見送った活動
- 農業体験支援（のびっ子たんぼの活動）
- 「大きく遊ぼう絆キャンプ」（おやじの会）
- 「新春もちつき百人一首大会」（　〃　）

【花いっぱい】

【学習支援（給食補助）】


【読み聞かせ】

【登下校見守り隊】

５　活動内容

花ボランティアについては常時活動として定着しており、屋外での活動でもあるため、臨時休業中から花の植え替え、水やり、除草、落ち葉はき等継続的に活動を行った。６月の学校再開とともに登下校の見守り活動も再開した。学習支援として１年生の給食補助については、分散登校が終了し、給食開始とともに、約１カ月程度実施した。例年はボランティアの方々も喫食し、１年生との交流を図っているが、本年度は感染防止の観点から配膳の補助のみとした。読み聞かせ及び図書館整備ボランティアは９月より実施をした。読み聞かせは事前に健康状態の確認を徹底した上で実施した。教室では子供達が着座の状態で聞けるよう配慮した。

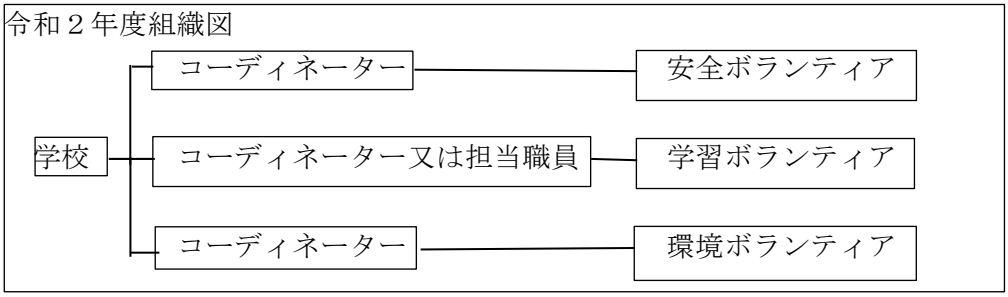
６　成果と地域の方の声

感染症防止に配慮しつつ、保護者・地域の方々から教育活動の支援をいただき、あらためて地域との連携の重要性と、継続した支援の有り難さを実感できた。市教育委員会の配慮で教室の児童机用の飛沫防止ガードが設置されたことで、読み聞かせ等も早い段階から再開することができ、ボランティアの方々からも環境が整えられているとの意見をいただいた。

桶川市立加納小学校の実践

1　児童数・学級数　　３４０名・１４学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	３名
担い手	元ＰＴＡ役員
行っている業務	学校と各ボランティアとの連絡・調整役

4　活動状況

（1）実施した活動、時期

①安全ボランティア（通年・年間活動のべ日数２００日程度）

・ＰＴＡ校外補導部を中心とした定期的（第三木曜日）な登下校指導（各地区ごと）。

・各地区の防犯推進委員を中心とした校区パトロールを日常及び随時実施。

・ＰＴＡ登校指導（係活動）　各学年の係が学期１回ずつ２か所で実施。

②学習ボランティア

・図書室の環境整備(通年・月１回)。

・学習補助、児童の安全確保（通年・学年の学習に応じて）。
家庭科のミシン学習や生活科の校外学習において学習補助や児童の安全確保。

③環境ボランティア（通年・年間活動日数９日）

・学校環境整備６月～３月の第２金曜日。
除草作業、花壇整備、花の植栽、樹木の剪定、落ち葉掃き等。

【図書室の環境整備】

（2）実施を見送った活動

・図書ボランティアによる読書タイムにおける読み聞かせ。

・図書ボランティアによる大型絵本の作成。

・安全ボランティアによる運動会やＰＴＡバザー等の行事における校地内および校地周辺の見守り活動。

5　活動内容

・コロナウイルス感染拡大防止の対応と学校応援団の活動との両立を配慮しながら、例年通りの活動を実施できるもの、できないものの判断を行った。

【環境ボランティアの皆様】

6　成果と地域の方の声

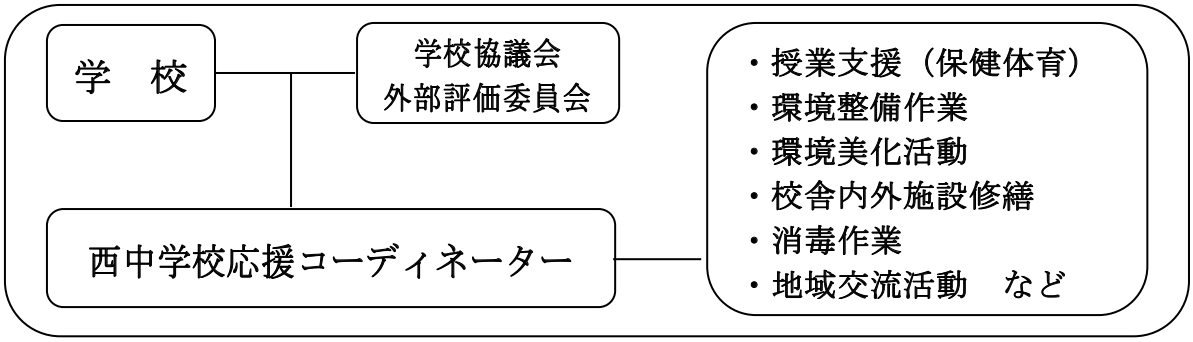
・多くのボランティアの支援により、登下校や校外学習時の安全や環境整備の確保をすることができた。

・地域の方々との交流が深まり、学校への理解・協力体制が強まった。

北本市立西中学校の実践

１　生徒数・学級数　　１４２名・８学級

２　体制図



３　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	３名
担い手	地域の方・ＰＴＡ
行っている業務	学校（担当者）との連絡調整 ボランティアとの連絡調整 地域の情報を学校へ情報提供

４　活動状況

（１）実施した活動、時期

・校舎内外施設修繕（４月～）
・除草作業、樹木剪定（５月～）
・トイレの消毒作業（７月～）
・地域の見守り活動（主に７月～８月）
・落ち葉掃き（９月～）
・フラワーロード整備作業（１１月）
・保健体育授業支援（１１月～）

【校舎内施設の修繕】

（２）実施を見送った活動

・西中バザー　　・しゃべり場（赤ちゃん触れ合い体験）
・親子除草作業

５　活動内容

学校の再開に向けて、臨時休業中の４月下旬から活動を行った。１学期は主に環境整備を中心に活動を行い、学校の教育活動の安心・安全を確保する活動から再開した。２学期は学校応援団の方々と生徒との交流を含んだ活動を行い、参加者にマスクの着用など感染症対策をお願いした。しゃべり場（赤ちゃん触れ合い体験）など、特色ある教育活動が一部実施できていないのが残念であるが、状況を見極めつつ、活動を再開していきたい。

６　成果と地域の方の声

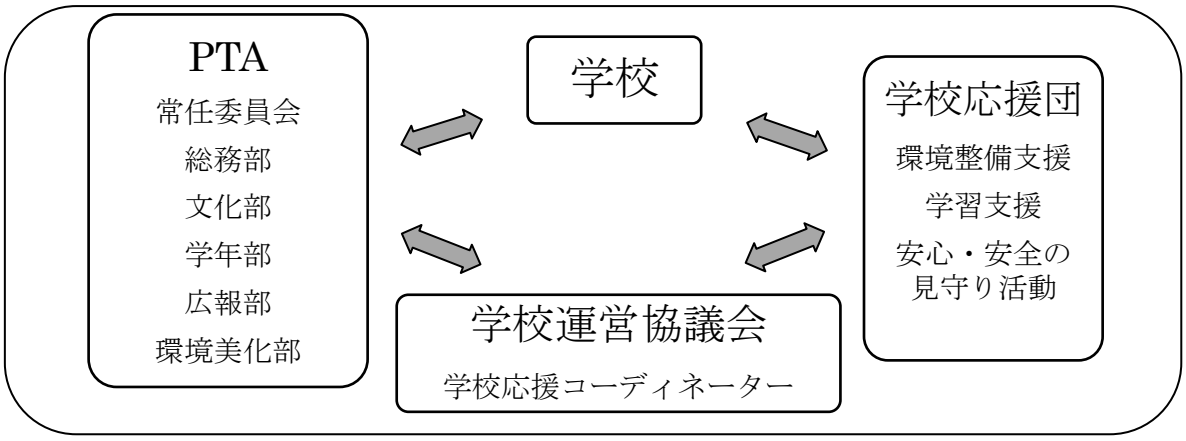
地元企業の方々に学校の消毒を手伝ってもらい、教職員の負担軽減につながった。また、コロナ禍にありながら、地域の方から環境整備作業の申し出をいただき、改めて地域に支えられていることを実感した。

参加者の方からは、「生徒の元気な様子が感じとれて嬉しい」「自分の経験を少しでも生徒のために役立てられれば」などという意見をいただけた。

伊奈町立小針中学校の実践

1　生徒数・学級数　　９６１名・２９学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１　名
担い手	学校運営協議会委員
行っている業務	○学校担当者との連絡・調整 ○学校と地域をつなげる。

4　活動状況

（１）　実施した活動

・あいさつ運動（９月～）
・清掃ボランティア活動参加（１０月）
・家庭科学習支援（１０月１１月）
・美術部員が書いた壁面ボードを体育館渡り廊下に設置（３学期）

【学習支援（家庭科）】

（２）　実施を見送った活動

・全校除草作業　・バザー　・花の植え替え　・体育祭協力

5　活動内容

学習支援として、今年度から家庭科の学習支援ボランティアを保護者から募った。毎時間数名のボランティアの方々にリバーシブルバッグ作りの支援をしていただいた。感染症対策として、マスクの着用や体調不良の場合は参加を見合わせるようお願いをした。

また、全校清掃作業が中止になったため、生徒会の呼びかけで、ボランティアによる校内清掃作業が行われた。その際、学校応援団の方々にも除草作業のご協力いただいた。

教室等の消毒を地域・保護者の方々に手伝っていただけるよう学校運営協議会で検討を行っている。

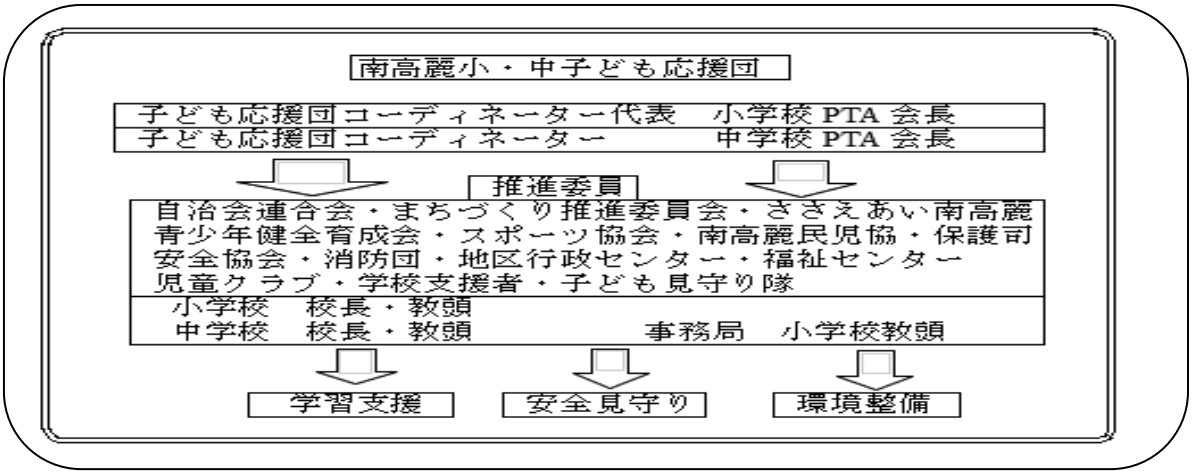
6　成果と地域の方の声

初めての試みとなった家庭科の学習支援では、小学校から継続して支援をされている方が多く、子供たちの実態に応じた支援をすることができ、技能と意欲の向上につながった。ボランティアの方々からは、「先生の大変さがわかりました。」「いろいろな子供がいるのですね。」「お役に立ててよかったです。」との声をいただいた。教育活動への理解を深めることができたことも大きな成果である。

飯能市立南高麗小・中学校の実践

1　児童数（生徒数）・学級数　　７５名・６学級　　（３３名）・３学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	２名
担い手	小中 PTA 会長
行っている業務	学校と応援団・学習支援者代表との連絡・調整 応援団推進会議の進行

4　活動状況

（1）実施した活動、時期

・稲作体験（5 月～11 月）
・野菜収穫体験（6 月～11 月）
・登下校の見守り活動（毎日）
・持久走大会コース見守り活動（持久走大会 12/9）
・PTA 環境整備支援(8/22)
・間野黒指探検隊（12/15）

（2）実施を見送った活動

・南高麗地域大運動会　・お囃子指導・昔遊びの会

【見守り活動】

【田植え体験】

5　活動内容

稲作体験は 5 月の学校再開前から行った。10 月の稲刈り、精米まで行い、給食として全校で試食した。応援団の方々に、水路の清掃から、田植え・稲刈り・はざかけまで指導をいただいた。野菜作りは、3 月のじゃがいも植えから小・中で行い、小学校では、夏野菜から始まり、秋の大根・白菜・小松菜等を縦割り活動で育て、給食で試食した。応援団の方に植え方や収穫の仕方等を教えていただいている。その他の活動も、予定通り、3 密とソーシャルディスタンスに気を付け、マスク着用で行った。地域のお年寄りも多いため、応援団の推進会議は中止した。

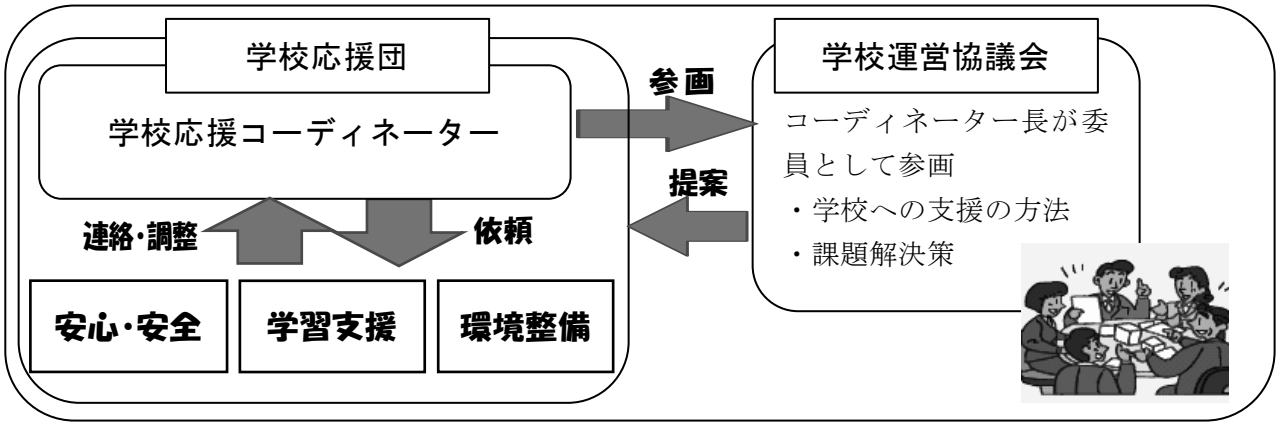
6　成果と地域の方の声

児童・生徒数も少なく、新しい生活様式に慣れてからは、ほぼ予定通りの活動を行った。ただ、小・中・地域合同の運動会が中止になり、「たぶのき祭り」という収穫祭も中止になり地域の方と触れ合う機会は少なかったが、工夫を重ね実施し、地域の方にも喜んでもらえる取組ができた。

東松山市立新明小学校の実践

1　児童数・学級数　　４７１名・１８学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	４名
担い手	元ＰＴＡ会長
行っている業務	・学校（担当者）との連絡・調整 ・学校応援団の募集活動

4　活動状況

（1）実施した活動

・登校時の整列補助（１０月～）　・図書カバー付け（１０月～）
・緑化活動（１０月～）　・うさぎの飼育作業（１０月～）
・教室やトイレの清掃作業（１１月～）　・懇談会時の児童の見守り（１２月～）
・読み聞かせ（１月～）

（2）実施を見送った活動

・運動会準備及び片付け　・持久走大会のコース見守り　・家庭科のミシン補助
・全校除草作業　・補習授業の補助

5　活動内容

○校内清掃プロジェクト

学校運営協議会の提案により実現しました。週に１度、トイレや流しの清掃を協力してもらいました。

○学校応援団「登校整列ボランティア」

朝の登校時に間隔を空けて並んで、健康観察カードをチェックできるように応援団のみなさんが整列させてくれました。

6　成果と地域の方の声

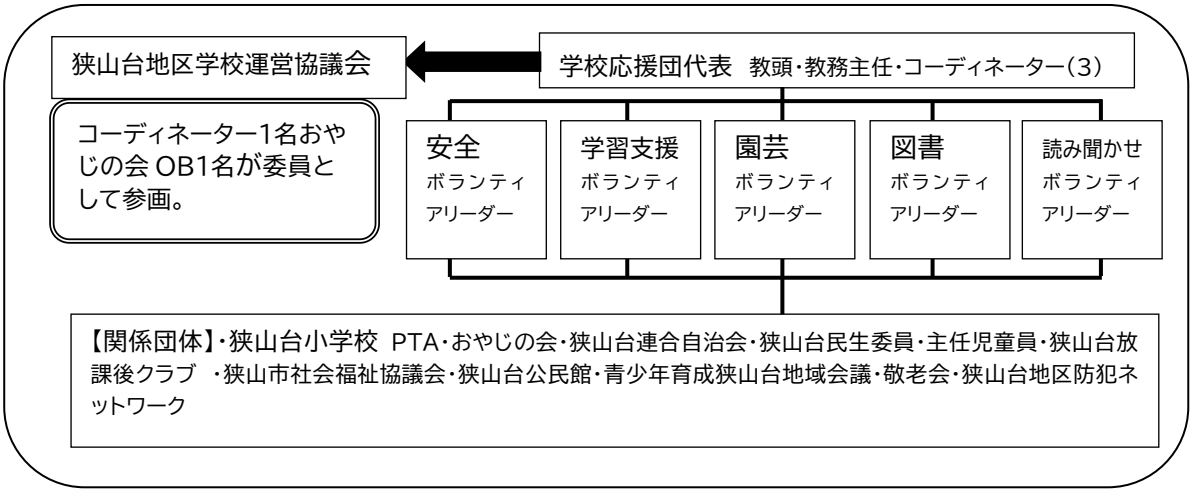
＜成　果＞　地域の人材を学校支援や課題解決に生かすことで、よりよい教育活動や教員の負担軽減につながった。また、児童は地域のみなさんに支えられ、感謝の心をより一層育成することができた。

＜地域の方の声＞　コロナ禍で子供たちの様子を知り、少しでも役に立つことができてうれしい。メールで頻繁に連絡をくれるので活動しやすい。

狭山市立狭山台小学校の実践

1　児童数・学級数　　４３７名・１６学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	３名
担い手	狭山市学校支援ボランティアセンター（以下「ＳＳＶＣ」）コーディネーター（２）、ＰＴＡ副会長（１）
行っている業務	○学校との連絡・調整　○ボランティアとの連絡・調整 ○新たなボランティアの募集活動

4　活動状況

【毎週木曜日の花壇整備】

（１）実施した活動、時期

・園芸ボランティア・安全ボランティア（６月～）
・図書ボランティア・読み聞かせボランティア（９月～）
・ステップアッププログラム（ＳＵＰ）（１０月～）

（２）実施を見送った活動

・学習支援（ミシンサポート・九九・コンピュータ支援）
・生活科の昔遊び教室　・総合的な学習の時間の古民具体験　・狭山台クリーン大作戦

5　活動内容

・狭山市教育委員会の方針を受け、１学期中は校内におけるＳＳＶＣの活動は中止したが２学期からは子供と接触せず、密にならない支援の在り方についてコーディネーターと共に検討を行った。読み聞かせは現役保護者ボランティアのみが、マウスシールドを着用し一番前の児童と２ｍ以上の間隔をあけて実施した。卒業生保護者ボランティアはビデオを撮影し読み聞かせの時間に上映した。「ＳＵＰ」では、４・５年生の宿題やプリントのまる付けを実施した。
・支援の際は、名簿記入・検温・手指の消毒・マスク着用を依頼した。

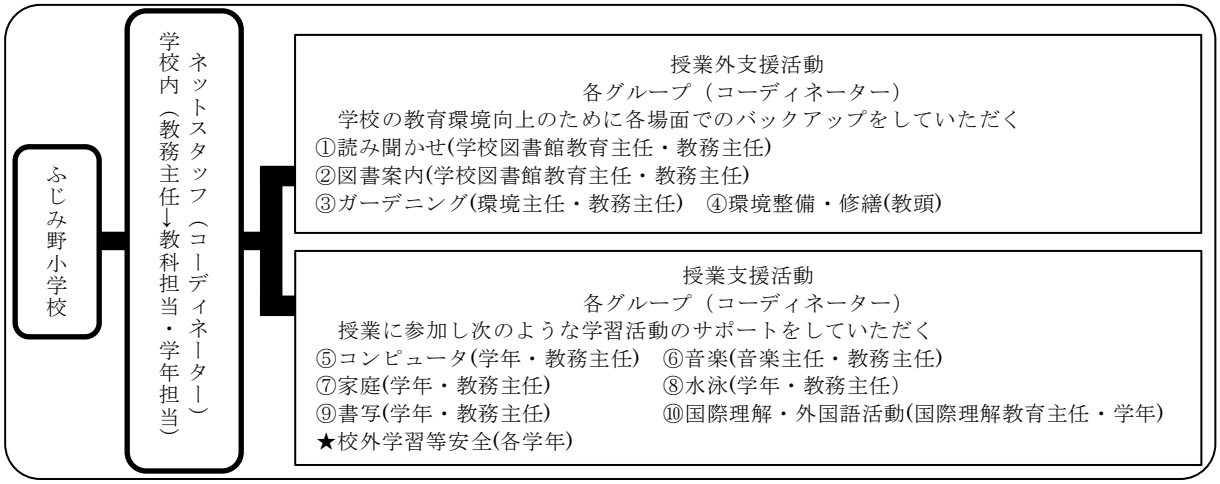
6　成果と地域の方の声

・子供たちの安全・安心を見守る地域の方のおかげで、教職員は登校時の検温や健康観察に全力を注ぐことができた。また本校の花壇は、「写真を撮っていいですか。いつも季節を感じます。」という地域の方から意見をいただくなど狭山台地区の癒しとなっている。
・「ＳＵＰ」では、まる付けに加えメッセージも添えていただいたことが子供たちの励みとなり、教師の負担軽減にもつながった。図書室の環境整備も進み、本の貸し出し数が増加した。

富士見市立ふじみ野小学校の実践

1　児童数・学級数　　６０６名・２０学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１１名
担い手	元保護者・教師の会関係者（１）　保護者（１０）
行っている業務	○学校担当者との連絡・調整 ○個々のボランティアとの連絡・調整 ○新たなネットスタッフの参加募集

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・環境整備（５月～）　・花壇整備（７月～）
・本の貸し出し、返却等（８月～）　・読み聞かせ（９月～）
・習字、書き初め支援（９月～）　・音楽会練習支援（９月～）
・ＰＣ室利用支援（１０月～）・家庭科ミシン支援（１０月～）
・校外学習等安全見守り（１０月～）

（２）実施を見送った活動

・水泳授業支援　・外国語（活動）授業支援

【習字、書き初め支援】

5　活動内容

学校の臨時休業が明ける直前の５月後半から、環境整備（水槽清掃）や花壇整備（花の植え替え）等の密にならない授業外支援活動から少しずつ再開した。２学期には授業支援活動を昨年度より半分程度の人数に減らしながら進めていった。読み聞かせの際は、読み手の周りには集まらず自席で聞く等、感染症対策をお願いして実施した。

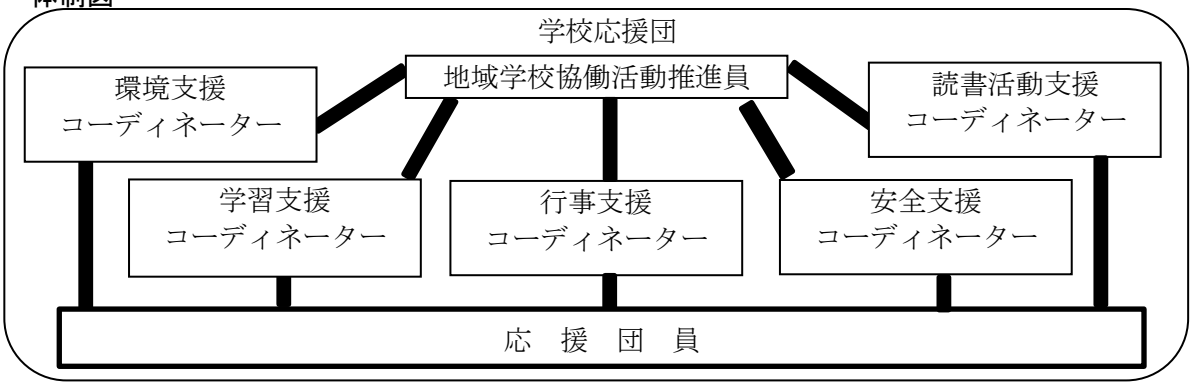
6　成果と地域の方の声

子どもたちのよりよい教育のために、感染症対策を講じながら今できる最大限の様々な支援をネットスタッフにご協力いただいた。「少しでも学校の役に立てれば」「子どもたちのために」とネットスタッフの方々から意見をいただき、今後も連携を密にして子どもたちを支援していきたい。

坂戸市立入西小学校の実践

1　児童数・学級数　　１０３７名・３５学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	８名	担い手	元 PTA 役員、卒業生保護者
行っている業務	○学校とボランティアとの連絡・調整　○HP の更新 ○ボランティアの募集　○学校と活動内容の相談・創造		

4　活動状況

【５年生家庭科
ミシンボランティア】

（１）実施した活動、時期

7 月　給食時の校内放送開始（本の読み聞かせ）　応援団室清掃
8 月　発育測定補助　　9 月　運動会前日準備、運動会運営補助
10 月　就学時健診手伝い、視力、聴力検査補助　ミシン指導補助
11 月　音楽会運営補助　校外学習安全見守り　花植え（花壇、プランター）
12 月　学年行事補助（さつまいも蒸かし）　落ち葉掃き　書きぞめ指導補助
＜通年＞
○学校応援団専用 HP の更新　○登下校見守り活動　○給食時の放送による読み聞かせ

（２）実施を見送った活動

○各教室に児童を集合させての読み聞かせ活動　○感謝集会（一カ所に集まることを見送り）

5　活動内容

「主体的で創造的な学校応援団活動」とテーマを掲げ、本年度のメンバーで活動を開始しようとしたが、4～6 月はコロナ禍に対する不安から活動ができなかった。7 月からは、「できること」を「できる人」が「できる分だけ」という根本的な姿勢をもとに、「消毒」「マスク着用」を徹底しながら活動を開始した。特殊な状況ではあったが、「ピンチ」を「チャンス」に変えるべく打ち合わせ（直接、メール）を綿密に行い、昨年度までになかった活動に多く取り組むことができた。また、コーディネーターと学校担当者の共有 Google アカウントを作成し、ファイルの共有やメールによるやりとり、サイトの作成をすることにより、自宅で間接的に関われる機会を増やせた。

【発育測定ボランティア】

6　成果と地域の方の声

＜成果＞

行事・学習支援では、教師の目が児童や学級集団に向き、学習時間の確保につながった。今年度始めた保健的な行事のサポートは、例年かかる時間を大幅に短縮し、教職員の負担軽減にも大きく寄与することができた。

安全支援では、事故や事件なく 1 年間安心して登下校することができた。児童と団員さんがつながり、地域関係の基盤となることができた。

環境支援では、花植えだけではなく、花を植える前の段階からサポートをしたり、プランターづくりを創造的に取り組んだりしたことで、児童が気持ちよく登校できる環境になった。

読書活動支援では、コロナ禍で給食を前向き・無言で食べている中、週に 2 回放送による読み聞かせを実施し、「読書への興味関心を高める」「安全管理」という 2 つの目的を達成できた。

コーディネーターを中心に学校と家庭・地域がつながり、学校経営への参画意識がたかまってきている。今後設置されていく学校運営協議会の基礎として、発展と向上をしていく。

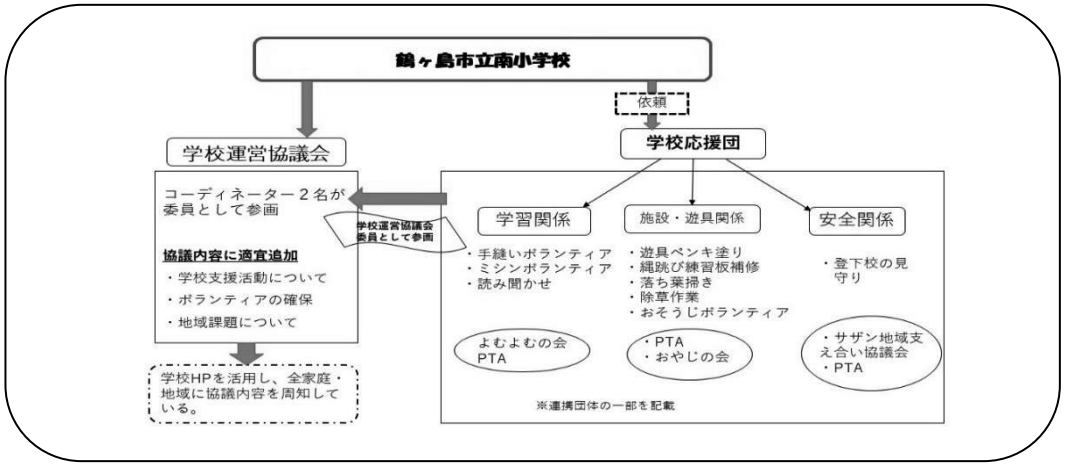
＜応援団長より＞

参加者が徐々に増え、活動の幅も広がっているので、学校に応援団がいることが自然になるくらいになれば嬉しいです。

鶴ヶ島市立南小学校の実践

1　児童数・学級数　　３９１名・１４学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	２　名
担い手	現 PTA 関係者、学校運営協議会委員
行っている業務	○学校（担当者）やボランティアとの連絡・調整 ○学校運営協議会と地域をつなげる ○新たなボランティアや団体の募集活動

4　活動状況

（１）実施した活動時期

教室やトイレの清掃作業（６～９月）／登下校の見守り活動（６月～）／家庭科における学習支援（７・１２月）／読み聞かせ（６月～）／学校敷地内の除草作業（１０月）／花壇の除草・植栽（予定）

【手縫いボランティアの支援の様子】

（２）実施を見送った活動

・特になし

5　活動内容

感染拡大防止の観点から児童による清掃は中止し、教職員による清掃と消毒を行っていたため、教職員の負担は増加し、清掃は細かいところまで行き届かない状況にあった。そこで学校応援団コーディネーターを中心に「おそうじボランティア」が立ち上がった。参加者はのべ１００人を超え、トイレや階段、昇降口などを中心に清掃を行った。読み聞かせや家庭科ボランティアについては、おそうじボランティアと同様に、来校前の検温と来校時の手指の消毒を徹底し、マスクとフェイスシールドを着用して活動した。

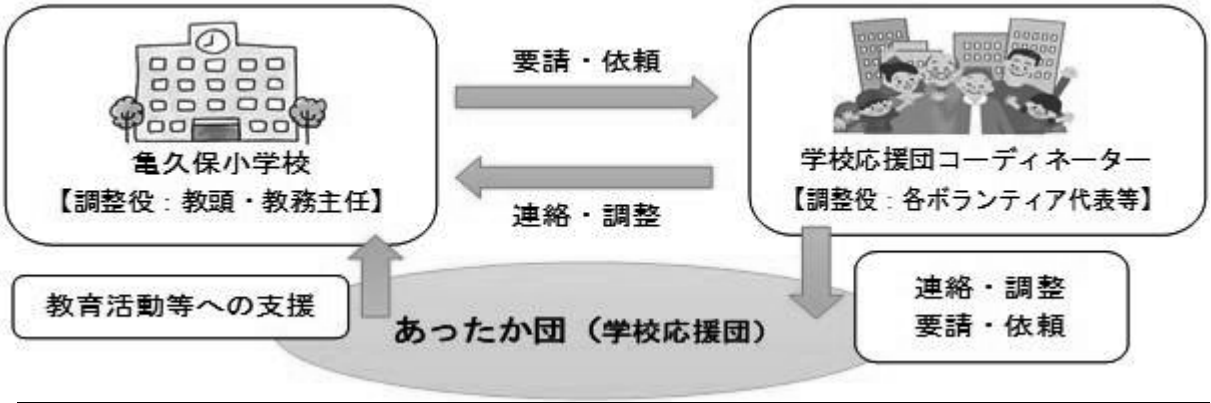
6　成果と地域の方の声

コロナ禍の中、学校応援団の活動により、児童が良好な環境で学習ができた。また、教職員の負担軽減にもつながり、感謝の声が多かった。さまざまな活動を地域の方々が快く引き受けていただき、支えていただいた。改めて地域の支えの大きさを実感できた。

ふじみ野市立亀久保小学校の実践

１　児童数・学級数　　５６８名・１９学級

２　体制図



①おやじの会	②花組	③亀小みまもり隊	④よむレンジャー（サポーター含む）	⑤学習支援
おおいまつり出店 亀小まつりのもち つき大会開催 学校の環境整備	学校の花壇等 の環境整備	登下校見守り 集団下校引率補助	読み聞かせ 読書活動充実のための支援	ミシン、音楽 書き初め等の補助 プール見守り等 校外学習の見守り

３　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	５名
担い手	学校運営協議会委員（全員）、元 PTA 会長、保護者
行っている業務	○学校やボランティアとの連絡・調整 ○学校運営協議会と地域を繋げるパイプ役。

４　活動状況

（１）実施した活動、時期

・登下校の見守り活動（６月～）　・花ボランティア（花組）（７月～）

・学習支援（家庭科ミシン、校外学習の見守り）（９月～１１月）

・６年生フェスティバルへの支援（修学旅行の代替行事）（１０月）

・読み聞かせ（９月～）

【6 年生フェスティバル・肝試し】

（２）実施を見送った活動

・亀小まつり（PTA）・サマーチャレンジ（夏休み学習支援等）・親子除草（PTA・おやじの会）

５　活動内容

あったかいぎ（学校運営協議会）の委員である各コーディネーターのご意見をいただき、「あったか団（学校応援団）ガイドライン」を作成し、新型コロナウイルス感染防止対策を文書で示した。学校が行う対策とあったか団（学校応援団）が行う対策に分けて詳しく示し、ウィズコロナでの活動について、ご理解いただけるよう周知した。来校した際は、事前の検温と記録、マスク着用、手指の消毒等、感染予防対策を徹底した。

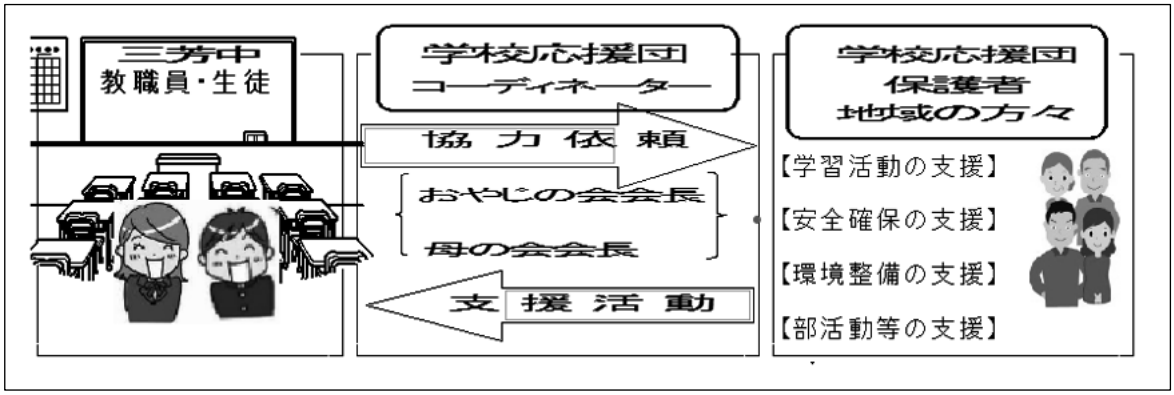
６　成果と地域の方の声

制限がある中でも、「子供たちのために活動したい」と多くの方に支援していただいた。特に、６年生フェスティバル（修学旅行の代替行事）では、市内オリエンテーリングの見守り（学習支援）、肝試しのお化け役と花火大会のサポート（おやじの会）など、多くの方の支援をいただき、６年生も地域の方も大満足の素晴らしい行事となった。

三芳町立三芳中学校の実践

1　生徒数・学級数　　４２８名・１４学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	２名
担い手	「おやじの会」会長、「母の会」会長
行っている業務	○学校(担当者)や地域ボランティアとの連絡・調整 ○学校運営協議会(令和３年度正式導入)に向けたコーディネート ○新規「おやじの会」・「母の会」及び新規地域ボランティアの応募活動

4　活動状況

（１）実施した活動
- 除草作業(６月)
- 花植え(１０月)
- 低木の剪定(１１月)

【特別支援学級の生徒も一緒に花植え作業】

（２）実施を見送った活動
- 壁のペンキ塗り
- 資源回収
- もちつき大会
- 三芳町更生保護女性会による家庭科(裁縫、調理実習等)の授業支援

5　活動内容

４月と５月の学校の臨時休業が明けた６月上旬におやじの会と母の会と合同で除草作業、５月予定だった体育祭を１０月に延期し、その直前に母の会を中心に実施した花植え作業、そして１１月にはおやじの会を中心に低木の剪定作業を行った。

6　成果と地域の方の声

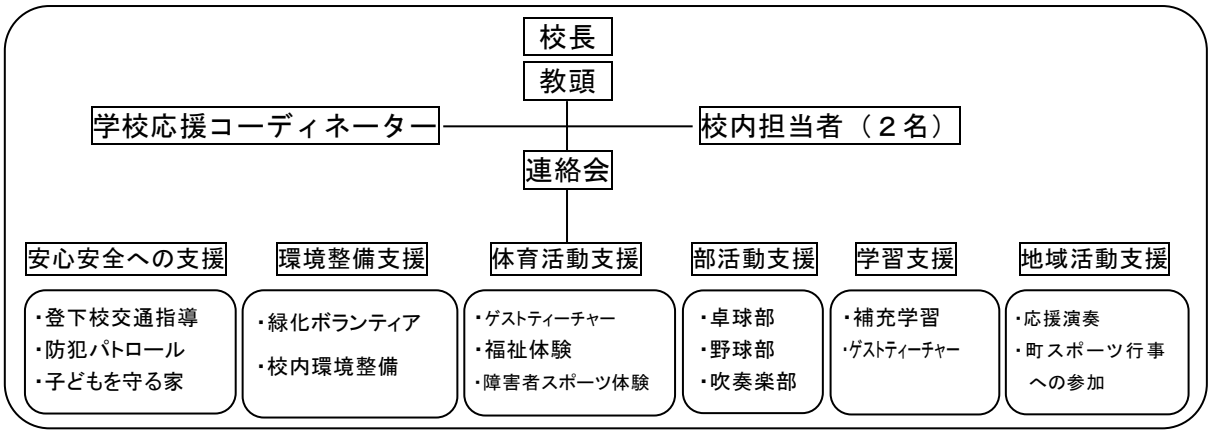
学校応援団の方々にはコロナ禍で大変な中、万全の感染対策を講じながら、作業をしていただいた。(感謝しかありません)また、学校応援団の方々からは、「学校が再開され、生徒たちの元気な姿や笑顔を見ることができて本当によかった。」「生徒がいてこそ､学校ですね」という大変にありがたい声を聴くことができた。

今後も学校応援団や地域の方々に「いつでも学校に協力していきたい。」と思っていただけるよう、学校として、信頼関係を築きながら、学校と家庭・地域が結束し、誰も充実感を得られるような活動を継続的に図っていく。

毛呂山町立毛呂山中学校の実践

1　生徒数・学級数　　４３５名・１４学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	現ＰＴＡ会長
行っている業務	○学校（担当者）との連絡・調整 ○学校応援団の活動時の指導・助言 ○個々のボランティアとの連絡・調整 ○地域の様々な団体・組織との連絡・調整 ○新たなボランティアの企画と募集活動

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・環境整備への支援（校内環境整備、令和２年１１月）

（２）実施を見送った活動

・地域大学生（教育実習生）の補充学習

例年、教育実習生が、夏季休業中や２学期末に来校し、後輩である中学３年生へ学習支援を行っている。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため実施することができなかった。

5　活動内容

○親子環境整備（パンジー植え・除草作業）

保護者と生徒が協力しながら、花壇に花を植えたりするなかで、保護者や地域の大人との交流を図れた。また、参加者全員が検温、消毒、マスク着用の上、間隔を開けて作業する等、感染症拡大防止に配慮しながら事業を行った。

【親子環境整備】

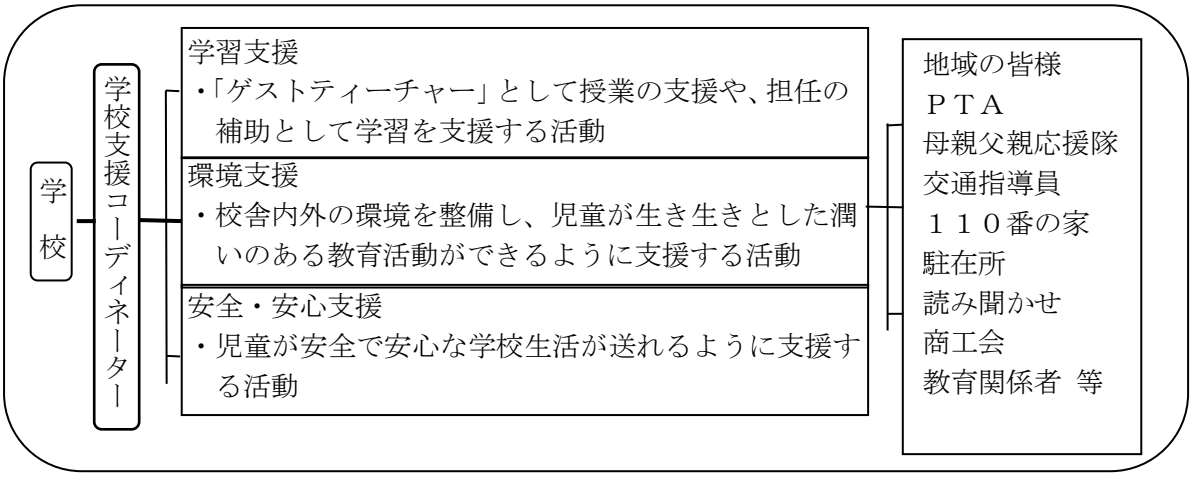
6　成果と地域の方の声

少子化による生徒数の減少に伴い、学級数の減少による教員数の減少は、地域や生徒の考えが多様化する中でよりきめ細かな教育を行ことが、ますます困難とな状況となってきている。本校では、この現状を解決するためには、学校の教職員だけでなく、学校応援団と協働し、本校・保護者・地域が目指す生徒の育成に取り組んだ。その結果、学校だけでなく「地域全体で子供たちを育成する」という意識が少しずつ高まり、保護者地域とより深い信頼関係が生まれた。また、多くの方々の力を活用することで、それぞれの高い能力を最大限に活用すると共に、力を結集する事でより大きな成果があった。また、保護者からは「共に活動することで子供たちとの心のふれあいができてとても楽しかった」との評価を頂いた。

川島町立つばさ南小学校の実践

1　児童数・学級数　　１１６名・８学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	元公民館長
行っている業務	○学校（担当者）との連絡・調整 ○地域情報の学校への提供 ○個々のボランティアとの連絡・調整

4　活動状況

（1）実施した活動

・登下校の見守り活動（６月～）　・除草作業（８月）　・稲作学習（稲刈りのみ９月）
・読み聞かせ（１１月～）

（2）実施を見送った活動

・各教科等学習支援　・地域の方との交流給食　・交通安全教室　・すったて、呉汁作り体験
・餅つき体験

5　活動内容

《もち米づくり》

例年本校では、籾蒔きから稲刈り、脱穀まで一連の米づくりについてご指導をいただいている。今年は、感染症防止のため、６月に米作りの資料をいただき、９月には全員検温とマスクを着用しての稲刈り体験を行った。はばたきの時間（総合学習）の授業には、ゲストティーチャーとして招聘し特別授業を行った。授業中はソーシャルディスタンスを確保し、バケツ苗の指導等をいただいたり、質問やグループ発表したりして学習を深めた。

【もち米づくり　ゲストティーチャーによる授業】

6　成果と地域の方の声

（1）成果

・学校応援団活動を通じ、保護者や地域の方々に学校の教育活動を理解していただいている。
・感染症防止対策を講じた新しい生活様式を踏まえながら、子供たち自身が、多くの地域の方々に見守られていることを実感させるとともに、郷土愛の醸成に結びついている。

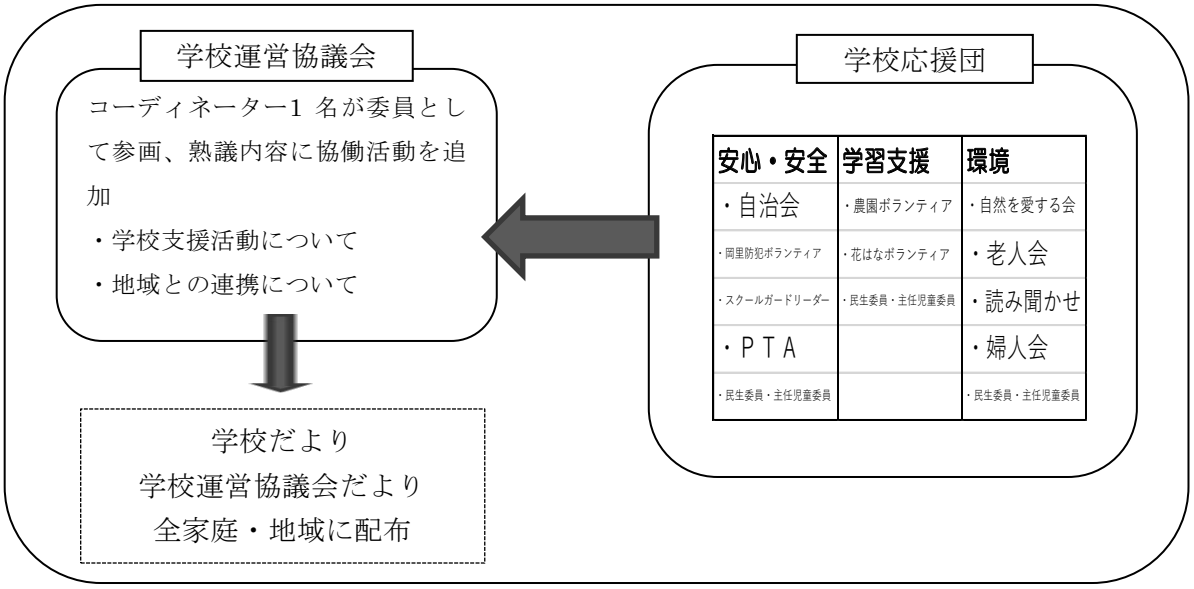
（2）地域の方の声

・子供たちの笑顔・笑い声で元気をもらっている。学校が身近なものとなっている。これからも協力していきたい。

深谷市立岡部小学校の実践

1　児童数・学級数　　３５２名・１５学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	元主任児童委員
行っている業務	○学校担当者とボランティアとの連絡調整 ○学校運営協議会と地域をつなげる ○地域の様々な団体・組織との連絡調整

4　活動状況

（1）実施した活動、時期

・農園ボランティア（4 月～）
・校庭の除草作業及び剪定作業（8 月）
・花はなボランティア（11 月）
・登下校や児童の見守り（6 月～）
・読み聞かせ（9 月～）
・手話学習（12 月）

（2）実施を見送った活動

・学習ボランティア（家庭科のミシン、生活科の昔の遊び）

【大型絵本の読み聞かせ】

5　活動内容

農園は、臨時休業中も準備もあり、耕地等を 4 月からしていただいた。学校の臨時休業が空けた 6 月から登下校の見守り活動などの安心・安全を確保する活動を再開した。2 学期から学習支援の読み聞かせの活動を行い、参加者には、学校からフェイスシードを配布し、マスクの着用や検温などの感染症対策もお願いした。また、形態も書画カメラを使用したり、大型の本にするなど密にならないように工夫した。手話教室などは、体育館で密にならないように間隔をあけて実施した。

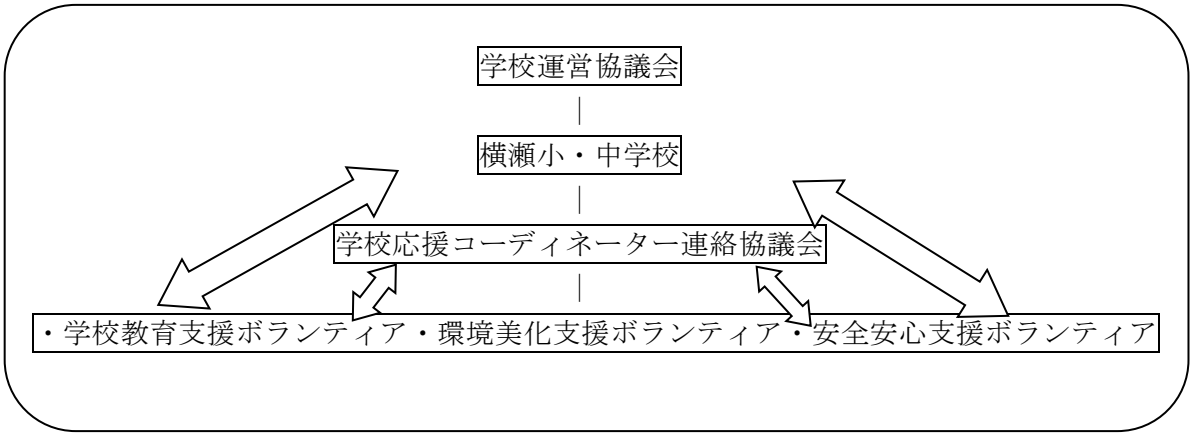
6　成果と地域の声

自治会の方に、中止予定であった、校庭の除草作業や剪定作業を子どもたちに 2 学期を気持ちよく迎えてもらいたいと実施の申し出をいただき、職員の負担軽減になり大変ありがたかった。

横瀬町立横瀬中学校の実践

1　生徒数・学級数　　２１７名・９学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	７名
担い手	公民館職員（１）、主任児童委員（２）、社会福祉協議会（１）、教育委員会職員（２）、元ＰＴＡ役員（１）
行っている業務	○学校及び担当者との連絡・調整 ○研修会等の企画・運営 ○新たなボランティアの募集活動

4　活動状況

（１）実施した活動、時期
- 部活動指導（６月～）
- あいさつ運動（７月～）
- 菊の栽培（７月～１１月）
- 図書のカバーコーティング（１１月）

（２）実施を見送った活動
- 職場体験学習
- ＰＴＡバザー

【菊の栽培】

5　活動内容

学校の臨時休業が明けた６月から部活動指導などの生徒の活動を支援する活動を再開した。生徒へ直接指導する場面もあるので、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者にマスクの着用や検温など感染症対策をお願いした。また、あいさつ運動では、高齢者の方が多い団体が不参加となり、参加者が少なくなった。

6　成果と地域の方の声

学校応援団の方々が生徒へ直接見本を見せるとともに専門的な助言をすることで、生徒の活動の質が高くなった。また、教職員の負担軽減にもつながった。

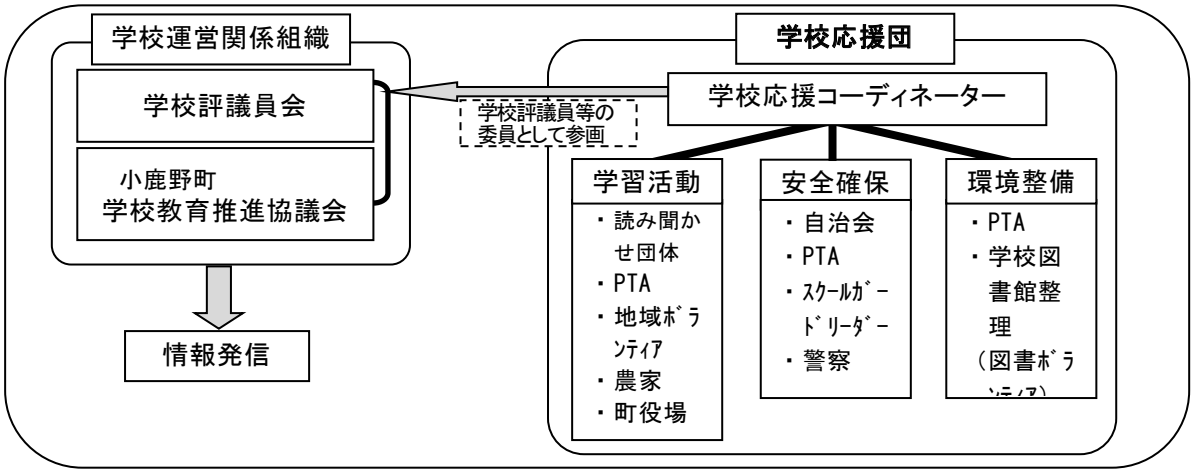
地域の方からは、「生徒の技術が上達して嬉しい。」「あいさつがとても気持ち良い。」「大輪の菊が咲いてよかった。」「母校へ来る機会ができてよかった。」という意見を多くいただけた。

学校を応援したいという思いを持った地域の方がたくさんいることを実感した。質の高い学校教育を実現するために、今後もご協力いただけるようにしていきたい。

小鹿野町立小鹿野小学校の実践

1　児童数・学級数　　３０２名・１４学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	２名
担い手	ＰＴＡ会長、元ＰＴＡ関係者
行っている業務	○学校やボランティアとの連絡・調整 ○地域の様々な団体・組織との連絡・調整 ○新たなボランティアや団体の募集活動

4　活動状況

（１）実施した活動、時期
- 登下校の見守り活動（６月～）
- 放課後子供教室（６月～１２月）
- 読み聞かせ（７月～１２月）
- 各教科における学習支援（７月～）
- 学校図書館整備（９月～１２月）

【学校図書館整備】

【５年生：脱穀体験】

（２）実施を見送った活動
- 夏季休業中における学習支援及び環境整備作業
- 伝統料理づくり体験

5　活動内容

学校の臨時休業が明けた６月から活動を実施した。学習活動支援では、２年生の町たんけん補助や、５年生の稲作体験、家庭科でのミシン学習補助等を行った。安全確保の活動では、スクールガードリーダーによる計画のもと、児童の登下校の見守り活動を行った。環境整備作業では、図書ボランティアによる学校図書館の整備を行った（月１回）。

新型コロナウイルス感染症対策として、手指の消毒のお願いの他、職員玄関・児童昇降口に検温器を設置し、来校時に体温チェックをお願いした。

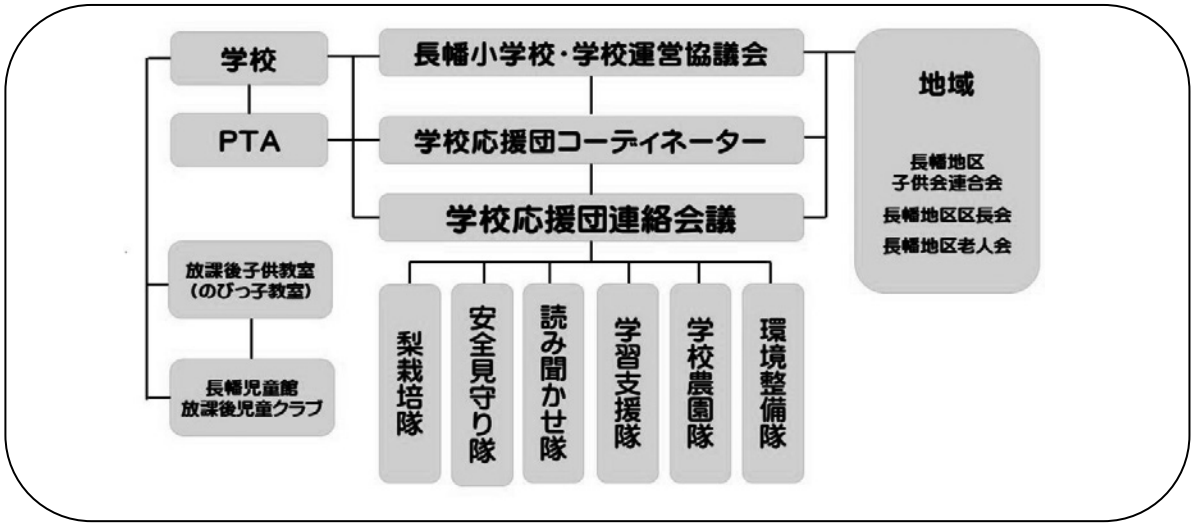
【検温器を設置】

6　成果と地域の方の声
- 学校応援団の活動を通して、保護者や地域の方に学校の教育活動を理解してもらうことができた。
- 「横断歩道で道を譲った車に、児童があいさつをしていた。」という声が学校に届いた。また、積極的に児童に声かけしてもらうことにより、安全に登下校することができた。
- 学校図書館の掲示物等が充実し、図書の利用が増えた。

上里町立長幡小学校の実践

1　児童数・学級数　　２０８名・１０学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	学校運営協議会関係者
行っている業務	○「学校応援団」の活動に参画する地域の様々な団体・組織等との連絡・調整 ○地域や学校の実情に応じた「学校応援団」の活動の企画・立案

4　活動状況

（１）実施した活動、時期
- 梨栽培（６月～）
- 安全見守り（６月～）
- 学校農園（６月～）
- 環境整備・緑化（６月～）

（２）実施を見送った活動
- 学習支援　・読み聞かせ

【梨の収穫の様子】

5　活動内容

学校の臨時休業が空けた６月から､登下校の見守りや環境整備･緑化等の活動を開始した。今年度は密にならないよう、外での活動を中心に行った。例年梨の収穫は全学年で行っていたが、今年度は４～６年生が行い、１～３年生の分も収穫した。学校応援団の皆さんと一緒に食べることも行わず、全校児童が梨を２個ずつ持ち帰った。

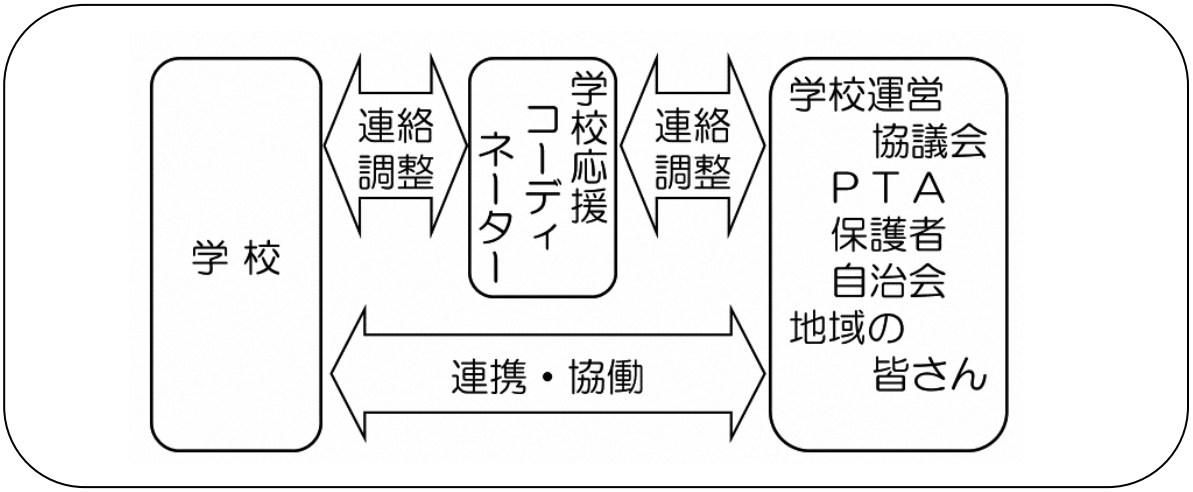
6　成果と地域の方の声

学校応援団連絡会議や各分野の活動を通して、登録ボランティアどうしの協力体制の輪が広がっている。地域の方からは「コロナ禍で学校に行くのを躊躇していたが、学校から声をかけてもらえてうれしかった。」「学校から言ってもらえれば、もっと手伝える」という声もあり、改めて地域に支えられていることを実感した。

行田市立行田中学校の実践

１　生徒数・学級数　　２６０名・１１学級

２　体制図



３　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	学校運営協議会の会長
行っている業務	学校（担当者）との連絡・調整 各協力団体との連絡・調整・依頼内容の伝達 新たなボランティア募集の呼びかけ

４　活動状況

（１）実施した活動、時期

・除草活動（９月）

（２）実施を見送った活動、計画時期

・市民祭への参加（８月）

・資源回収（７月、１２月）

５　活動内容

本来であれば、コーディネーターの呼びかけにより、学校環境整備作業（除草など）をＰＴＡや保護者・地域の方の協力を得て大規模に実施しているところであるが、今年度については密を避けるため、参加者の規模を縮小して行った。

【除草作業】

６　成果と地域の方の声

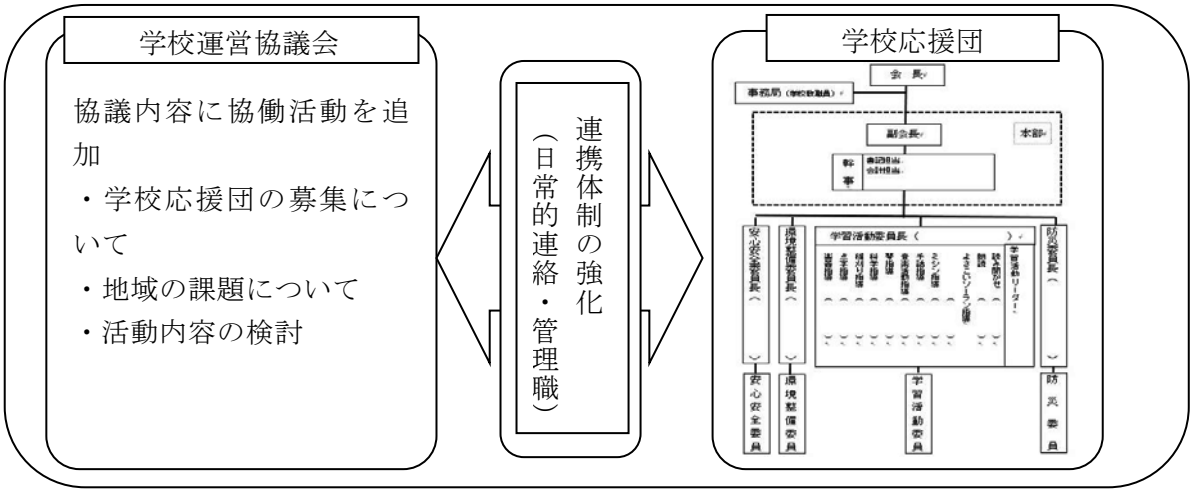
今年度はコロナ禍で今まで通りとはいかなかったが、これまで築いてきた学校応援団との関係から、「学校は今大変だから」とできる範囲で協力を得ることができた。特に、放課後の消毒作業もボランティアを申し出ていただいた地域の方等に行っていただいている。今後も、コーディネーターを中心に学校と地域の連携を深めていきたい。

【放課後消毒作業ボランティア】

久喜市立桜田小学校の実践

1　児童数・学級数　　８４７名・　２９学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	４名
担い手	現 PTA 役員（１）・ボランティア団体リーダー（３）
行っている業務	・学校（担当者）やボランティアとの連絡・調整 ・学校と地域をつなげる活動 ・新たなボランティアや団体の募集活動

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・登下校の見回り活動（６月～）
・各教科における学習支援（９月～）
・学級園や花壇の作業（６月～）
・除草活動（６月～）
・図書室での作業（９月～）

【朝の登校見守り】

【図書ボランティア】

（２）実施を見送った活動

・読み聞かせ（６月～）　　・生活科「昔の遊び教室」（１１月）
・社会３年「昔の道具体験」（１月）　　・桜田小バザー

5　活動内容

・学校の臨時休業が空けた６月から屋外でできる活動について実施した。（登下校の見守りや屋外での学級園・花壇の作業、除草作業等）新しい生活様式の条件下で出来うる活動のみとした。２学期には活動内容を広げ、屋内での学習支援（ミシン取り扱い補助、習字補助等）を順次再開した。活動の際には検温、マスクの着用をお願いし、来校時や活動前には、アルコール消毒を実施し感染予防に心がけた。

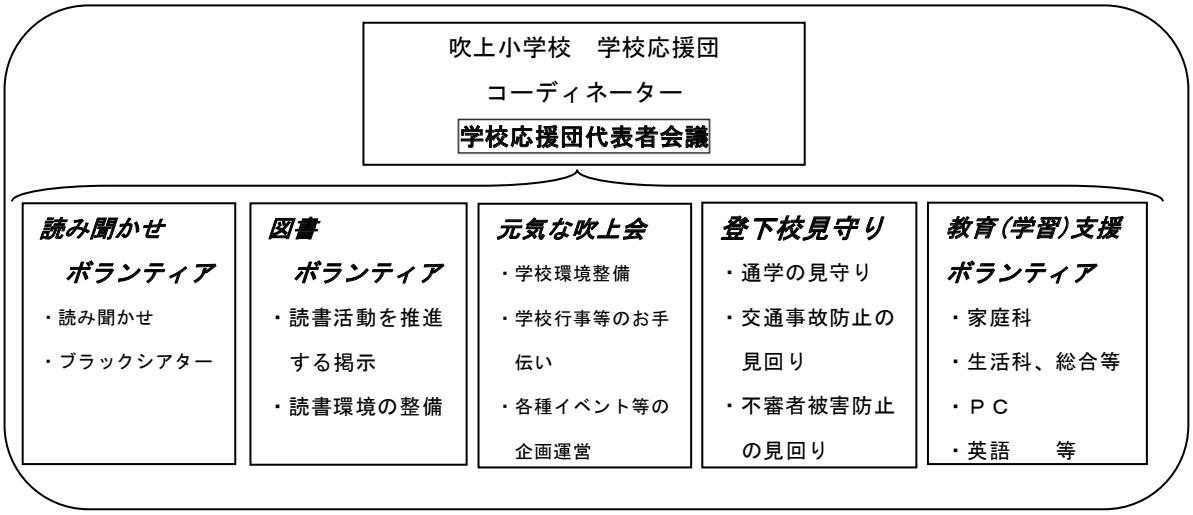
6　成果と地域の方の声

・地域の方からボランティア再開の確認を進んで連絡していただき、地域の方々の学校教育に対する意識の高さを感じることができた。

三郷市立吹上小学校の実践

1　児童数・学級数　　２２５名・　１０学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	６名（各ボランティアリーダー）
担い手	ＰＴＡ会長、読み聞かせ、図書整備、見守り隊、学習支援、元気な吹上会
行っている業務	○学校・各ボランティアとの連絡・調整 ○各ボランティアの活動促進 ○新たなボランティアの募集活動

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・登下校見守り活動（６月～）
・読み聞かせ（９月～）
・図書整備（９月～）
・総合的な学習の時間における学習支援（８月～）

【読み聞かせの様子】

（２）実施を見送った活動

・「元気な吹上会」児童向けイベント、環境整備
・吹上わくわくガーデニング（全校花いっぱい活動）　・朝のあいさつ運動
・吹上フェスタ（ＰＴＡバザー）　・昔遊びの会（１年）

5　活動内容

学校の臨時休業が明けた６月から活動を行った。登下校の見守りなどの児童の安心・安全を確保する活動から再開した。２学期から学習支援や読み聞かせの活動を行い、参加者にマスクの着用や検温など感染症対策をお願いした。読み聞かせの際には、フェイスシールドを配布し着用してもらった。

6　成果と地域の方の声

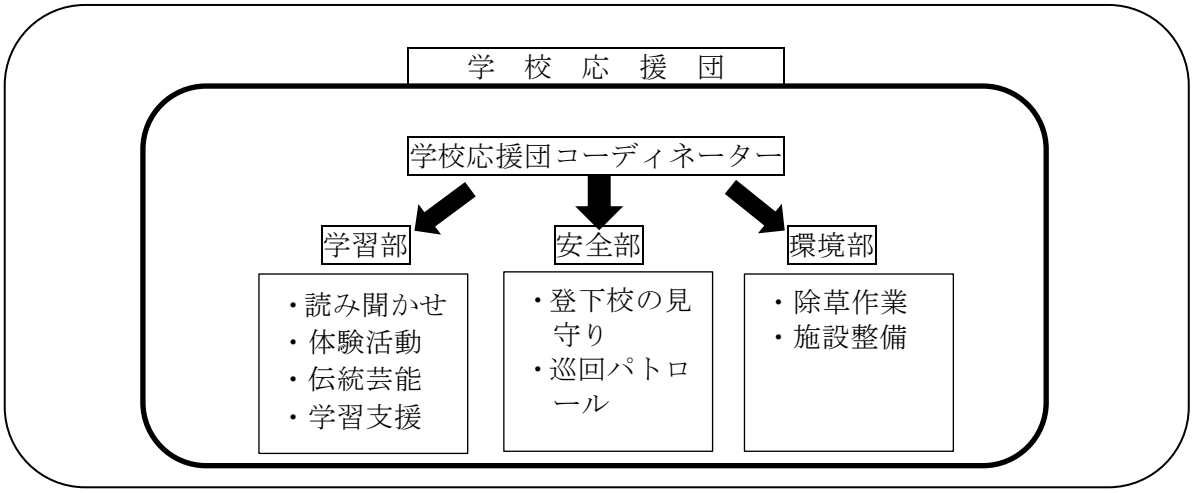
コロナ禍での取組であっても、感染症対策を講じた上で、コーディネーターを中心にできる活動を考えていただき、学校が改めて地域に支えられていることを実感した。

地域の方からは、「子供の笑顔が見られて嬉しい」「自分の経験を伝えられてよかった」という意見を多くいただくことができた。

蓮田市立蓮田北小学校の実践

1　児童数・学級数　　１８１名・７学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	元ＰＴＡ会長
行っている業務	○学校と応援団各部及びＰＴＡとの連絡調整 ○応援団活動の内容と日程等の調整

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・登下校の見守り活動（６月～）
・下校時の巡回パトロール（６月～）
・各教科や総合的な学習の時間における学習支援（６月～）
・校庭等の除草作業（６月・８月・９月）
・読み聞かせ（７月～）

【見守り活動】

（２）実施を見送った活動

・そろばん学習支援
・生活科昔遊び活動
・ありがとう集会

【田植え体験】

5　活動内容

登下校の見守りについては、４月・５月の臨時休業中の登校日にも児童の安心・安全を確保するため活動を行った。６月の学校再開からは、毎日見守りを行っているが、感染防止のため密接を避けること等にも注意を払っている。例年、８月に親子除草を行っていたが、今年は、応援団とＰＴＡのみで、マスク着用等の感染防止対策を講じて環境整備を行った。

田植えや稲刈り体験では、活動時間を短縮し実施することで、感染予防を図った。読み聞かせ等で来校するボランティアの方には、日常の検温等による体調管理をお願いした。

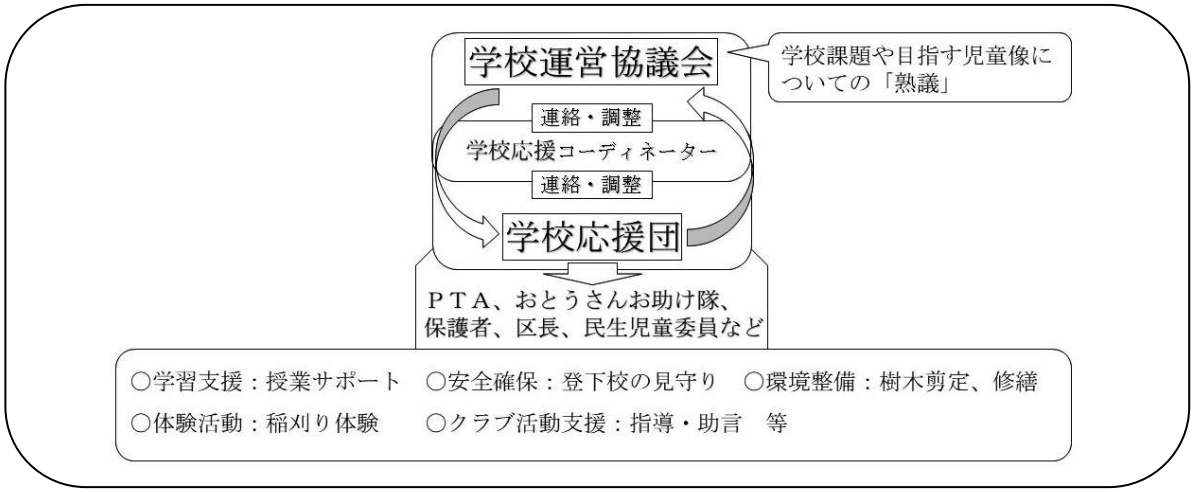
6　成果と地域の方の声

学校応援団の方々に毎日の登下校の見守りをしていただき、児童が安全に登下校することができた。地域の方の協力で体験活動を実施することができ、教室では学べないことを学ぶことができた。地域に支えられて学校の教育活動が成り立っていることを改めて実感した。

幸手市立行幸小学校の実践

1　児童数（生徒数）・学級数　　３１６名・１４学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	１名
担い手	学校運営協議会関係者
行っている業務	○学校（担当者）やボランティアとの連絡・調整 ○学校環境整備 ○授業支援（ゲストティーチャーとして参加など）

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・登下校の見守り（６月～）

・「林間学校 in 行幸小学校」における学校キャンプファイヤーなどの協力（１０月）

（２）実施を見送った活動

・読み聞かせ　・全校除草（清掃）作業

【コロナ禍における学校運営協議会の実施】

5　活動内容

学校再開後の６月から活動を行った。８月に行った令和２年度第１回学校運営協議会において、「行幸小の子どもたちがどのように育ってほしいか」について「熟議」を行った。コロナ禍において、『子どもたちのために何ができるかを考え実践していく』という校長のリーダーシップのもと、今年度の活動を充実させることができた。１０月には、コロナ禍のため中止となった林間学校に代えて「林間学校 in 行幸小学校（５年生)」を実施した。実施に際しては、おとうさんお助け隊、建築組合、消防団、地域の方々の力強いバックアップを受けることができた。

【林間学校 in 行幸小学校（５年生)】

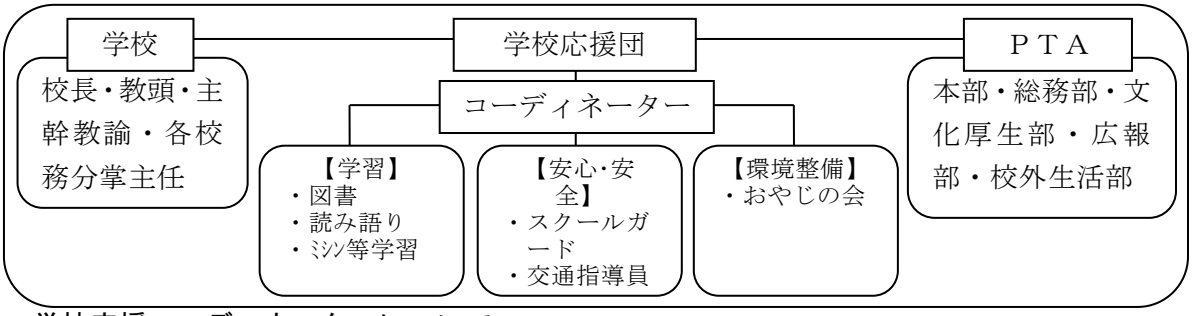
6　成果と地域の方の声

日々の登下校の安全確保は元より、コロナ禍における、児童の心に残る一生の思い出づくりに学校と地域とが連携して取り組むことができた。児童の感想には「林間学校が中止になり、残念に思っていましたが、学校で実施できてうれしいです。」とあり、地域の方々からも、児童が喜んでくれてよかったという意見をいただくことができた。

宮代町立東小学校の実践

1　児童数・学級数　　３４９名・１４学級

2　体制図



3　学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	４名
担い手	図書ボランティア、読み語り団体「カンガルーのぽっけ」、スクールガード・リーダー、おやじの会
行っている業務	○組織づくりの推進（登録者名簿等の作成等） ○活動支援に係る調整（年間活動計画の作成等） ○学校と各団体・組織間の連絡及び調整　等

4　活動状況

（１）実施した活動、時期

・除草作業・・・５月２４日（日）、８月２２日（土）に実施。

・読み語り・・・２学期から実施。録画をし、校内放送にて全校へ流す。

・図書の貸し出し、返却・・・７月から実施。主に、朝と業間に、図書委員とともに活動。

・ミシンボランティア・・・９月の数週間実施。今年度は、１名のみであった。

・１年生下校の見守り・・・６月からほぼ毎日実施。

【読み語り（校内放送にて）】

（２）実施を見送った活動

・全校除草作業　・ＰＴＡバザー　・交通安全教室　・芸術鑑賞教室

・しめ縄飾り作り　・箏体験　・ゲストティーチャーを招いての昔の遊び体験

5　活動内容

どの活動においても、密を避けて間隔をあけ、マスクを着用して行っている。参加者には検温及びアルコールによる手指消毒もお願いしている。臨時休業中におやじの会による除草作業から始まり、学校が始まってからは児童の安全確保のためスクールガードによる見守り活動等、順次活動を行っていった。読み語りについては、至近距離での活動は難しいと考え、現在も事前に録画をし、校内放送にて映像を流している。

6　成果と地域の方の声

学校応援団の方々には何よりも子供の安心・安全を第一に考えていただいている。子供たちと直接関わりたい気持ちを抑えて、学校側の考えもよく聞きよく理解していただきながら、できる範囲で活動を行っていただいている。

学校応援団の方々からは、「まだまだ通常通りとはいかないが、活動が再開できてうれしい。」「臨時休業が終わり、子供たちが学校に戻ってきてよかった。」「子供たちが安全にすごせるよう、力になりたい。」などの意見をいただいた。